

## まちづくりの基本的な考え方に関する施策

### (1) まちづくりに関する情報の共有

※ 〈 〉 内は、「決算事項別明細書」の該当ページを表しています。

#### 【広報活動の充実】

〈93・103 ページ〉

- 広報紙発行事務
  - ・ 12回発行(全戸配付)
  
- FM わっかない放送事務
  - ・ 「ハートフルわっかない」 平日3回、土日2回放送
  - ・ 「元気ハツラツわっかない」 週1回放送
  - ・ 「市政 ふれあい通信」 本放送月1回、再放送月1回(ウェブラジオ配信)
  - ・ 「学びふるさと再発見」 平成26年3月で番組終了。過去に放送されたものをウェブラジオで配信
  - ・ 「防災・災害ひとロメモ」 1日1回毎日放送
  
- TV 広報市民ニュース放映事務
  - ・ 年52回放送(毎週土曜日)
  
- 「ふれあいトーク」の開催
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
  
- ホームページ管理運営事業

	令和3年度	令和4年度
アクセス件数	768,680件	811,485件
各課ページ更新件数	2,350件	2,359件
バナー広告掲載数	2枠	3枠

#### 【情報公開及び個人情報保護の推進】

〈91 ページ〉

- 情報公開・個人情報保護事務
  - ・ 情報公開請求  
請求件数 81件  
決定の内訳 公開15件  
公開＋非公開1件(非公開の内訳 不存在1件)  
一部公開46件  
一部公開＋非公開2件(非公開の内訳 不存在2件)  
非公開17件(非公開の内訳 不存在17件)

- ・ 個人情報開示請求  
請求件数 5 件  
決定の内訳 開示 2 件、一部開示 3 件

## (2) 市民が主役の協働のまちづくり

### 【協働のまちづくりの実現】

〈97・101 ページ〉

- 地方創生推進事業
  - ・ 「第2期稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標達成に向け各種施策を展開したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業が多く見受けられ、また、地方創生市民会議も感染予防の観点から開催を見送った。
  - ・ 勇知地区に地域おこし協力隊を配置し、地域活動の活性化に向け取り組みを進めた。(地域行事や老人クラブの介護予防活動への支援、子どもの野外活動への支援等)
- 協働のまちづくり推進事業
  - ・ 協働のまちづくり活動支援事業補助金  
自主的な「まちづくり活動」を行う市民団体等の取り組みに対して支援を行い、市民と行政の協働によるまちづくりの推進を図った。(補助率 2/3、限度額 30 万円(2 年目以降 10 万円))
  - ・ 令和 4 年度補助件数:1 件

### 【持続可能な地域コミュニティ活動の推進】

〈99・101 ページ〉

- まちづくり委員会支援事業

委員会	主たる活動内容
恵北・増幌地区	花いっぱい運動
声間地区	花いっぱい運動
西浜地区	カエルロード交通安全推進事業
宗谷地区	宗谷路クリーン大作戦・アイスキャンドル事業
大黒・末広地区	アイスキャンドル事業

※各まちづくり委員会の掲載順は、設立年月日による。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の地区で事業を中止した。

- 地域集会所等改修事業
  - ・ 北防会館(屋根修繕)
- コミュニティ助成事業
  - ・ 白樺町内会が実施する交流事業等に利用する備品の整備を行った。
  - ・ 内容:机、椅子、テント、防寒着、備品保管倉庫等の整備

- 地域活動拠点施設管理運営事業（主な利用形態:各種サークル、各町内会、老人クラブ活動）

- ・ 利用者数の状況

施設名	令和3年度	令和4年度
宝来地区活動拠点センター	15,705 人	18,634 人
東地区活動拠点センター	25,533 人	20,703 人
富岡・はまなす地区活動拠点センター	8,570 人	8,979 人
南地区活動拠点センター	16,159 人	18,654 人

## 【男女共同参画社会の推進】

〈97 ページ〉

- 男女共同参画事業

- ・ パネル展の実施

実施日	場所
令和4年6月10日(金)～6月26日(日)	稚内市立図書館
令和4年10月2日(日)～10月16日(日)	稚内市地域交流センター(消費生活展)
令和4年11月17日(木)～11月24日(木)	稚内総合文化センター(市民サークル展)
令和5年1月8日(日)	稚内総合文化センター(稚内市20歳の集い)
令和5年2月9日(木)～2月16日(木)	稚内中央小学校
令和5年2月17日(金)～2月24日(金)	増幌小中学校

## (3) 将来を見据えた自治体経営

### 【効率的で効果的な行財政運営】

〈89 ページ〉

- 議会ICT推進事業

- ・ 議員個々に貸与したタブレット端末を活用し、本会議及び各委員会などの議会運営を実施するとともに、ペーパーレス化の推進と、迅速な情報の伝達及び共有化を図った。
- ・ SNS等を利用したゼロ予算での議会広報  
ホームページやフェイスブック、動画サイト「Youtube」等を活用し、ゼロ予算で議会の活動を広く発信した。

### 【情報システムによる行政事務の効率化とセキュリティ対策】

〈103 ページ〉

- 行政情報化事業

- ・ RPA ツールを導入し、業務の効率化を図った。  
業務数 5 件(個人住民税、法人住民税、軽自動車税、固定資産税、選挙)  
工程数 10 件  
業務時間が 276 時間から 166 時間に短縮された。

## 【職員の人材育成・意識改革の推進】

〈103 ページ〉

### ○ 職員研修事業

- ・ 人材育成を推進するため、職員研修を実施した。職階に応じて実施する階層別研修や、社会情勢の変化や直面している課題に即応できる能力の習得を目指す専門研修、派遣研修のほか、eラーニングや、会計年度任用職員を対象にした研修などを実施し、職員の育成に努めた。

- ・ 一般研修・特別研修 22回 延べ402人（昨年度 20回 延べ284人）

研修種別	実施回数	延べ参加人数	備考
一般研修	9回	208人	
(階層別研修)	(4回)	(93人)	新採用職員研修Ⅰ・Ⅱ、初級職員研修Ⅰ、監督者研修
(専門研修)	(5回)	(115人)	若手職員政策形成実践研修、OJT指導者研修など
特別研修	13回	194人	自治体DX基礎セミナー、自治体DX業務改革(BPR)セミナー、eラーニングなど

- ・ 研修機関派遣研修 5人（昨年度 0人）

派遣先（研修内容等）	派遣人数
北海道社会福祉会	2人
社会福祉士実習指導者講習会	2人
日本経営協会「NOMA 行政管理講座」	1人
出納事務実務講座	1人
全国建設研修センター	1人
公共建築工事積算	1人
防災士研修センター	1人
防災士研修講座	1人

- ・ その他派遣研修 5人（昨年度 1人）

総務経済常任委員会行政視察	1人
民生文教常任委員会行政視察	1人
石垣市・稚内市職員相互派遣	1人
北海道市長会派遣	1人
(一社)稚内青年会議所(会員)派遣	1人

### ○ 社会保障・税番号制度システム整備事業

- ・ 社会保障・税番号(マイナンバー)制度改正の対応に必要なシステムの改修及び整備を行った。

[改修及び整備を行ったシステム]

- ・ 個人住民税システム
- ・ 団体内統合宛名システム
- ・ 介護保険システム
- ・ 児童手当システム
- ・ 児童扶養手当システム
- ・ 子育て支援システム
- ・ 幼児教育無償化システム
- ・ 軽自動車税システム
- ・ 就学援助システム
- ・ 収滞納管理システム
- ・ 公営住宅システム
- ・ 国民健康保険システム
- ・ 障害福祉システム
- ・ 生活保護システム
- ・ 健康管理システム

### ○ デジタル基盤改革整備事業 ※新規

- ・ デジタル基盤改革(自治体情報システムの標準化・共通化、マイナポータルと基幹システムのオンライン接続)の対応に必要な整備を行った。

[整備を行ったシステム]

申請管理システム(子育て関係 15 手続き、介護関係 11 手続き、被災者支援 1 手続き)

### ○ 統計調査事業

- ・ 令和4年学校基本調査(毎年)

調査実施日 令和4年5月1日

調査対象 小学校11校、中学校7校、幼稚園・幼保連携型認定保育園5園

調査方法 各学校単位による調査

調査結果 令和4年12月21日、国により公表

- ・ 令和4年就業構造基本調査(5年毎)

調査実施日 令和4年10月1日

調査対象 市内7調査区105世帯

調査方法 調査員7人による調査票及びオンライン調査

調査結果 令和5年7月21日、国により公表

## 子ども・若者の夢を育み、次代を担う“ひとづくり”

### (1) 次代を担う人材の育成と地域とともにある学校づくりの推進

#### 【生きる力を育む学校教育の充実】

〈171・173・175 ページ〉

- 教育研究所運営事業
  - ・ 多様化・複雑化している教育現場を支援するための調査・研究を行い、更なる教育の振興・発展のため、今日的な教育課題に即応した研修や事業を展開した。
  - ・ 教育研究所に教育研究所研究員(2人)、教育研究所補助員(1人)を配置した。
  - ・ ICT研修講座、学校図書館活用実践交流会、英語教育ワークショップなどの各種研修・事業を実施し、スキルアップや実践交流を図った。
  
- 外国語指導助手派遣事業
  - ・ 小学校及び中学校全学校へ派遣し、英語教育の強化を図った。
  - ・ 外国語指導助手 3人
  - ・ 小学校派遣日数・授業時数 217日・557時間
  - ・ 中学校派遣日数・授業時数 122日・291時間
  
- 教育相談・不登校対策事業
  - ・ 児童生徒の問題行動や不登校問題等の課題に対応した。
  - ・ 教育相談所に教育相談所相談員(1人)、教育相談アドバイザー(1人)、就学前教育アドバイザー(1人)を配置し、保護者や関係機関との緊密な連携のもと、児童生徒の問題の早期発見・早期解決や相互の関係改善を図った。
  - ・ 適応指導教室に適応教室指導員(3人)を配置し、不登校児童生徒に対し、教育相談、体験活動、教科学習等の支援を通じて、心の安定や意欲向上を図り学校生活への復帰を促進した。
  - ・ 教育相談所や適応指導教室をはじめとする教育委員会関係者のほか、高等学校、大学、民生児童委員連絡協議会からなる教育相談スタッフ会議を8回開催し、見守りが必要な児童生徒に関する情報交換や連携を図った。
  - ・ 小学校及び中学校や教育委員会関係者からなる学校適応指導委員会を2回開催し、学校に適応できない児童生徒にかかる指導の内容や方法について情報交換・協議を行い、効果的な指導につなげた。
  
- スクールソーシャルワーカー活用事業(北海道からの委託事業)
  - ・ 問題を抱えた児童生徒に対し、そのおかれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法で課題解決への対応を図った。
  - ・ 教育相談所に1人を配置した。(支援件数 不登校・家庭環境・発達障がい等に関する支援など計107件)

- 放課後学力グングン塾開催事業
  - ・ 基礎学力の定着を図るため、3・4年生を対象に、放課後や長期休暇期間中、国語、算数の学習支援を行った。
  - ・ グングン塾指導員 7人
  - ・ 実施校 4校(稚内中央小学校 41人、稚内南小学校 64人、稚内東小学校 55人、潮見が丘小学校 59人)
  
- 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業(特別支援教育支援員の配置)
  - ・ 学校における生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行った。
  - ・ 支援員 21人
  - ・ 配置校 8校(稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、潮見が丘小学校、稚内中学校、稚内南中学校、稚内東中学校、潮見が丘中学校)
  
- 小学校教育振興事業(学校図書館協力員の配置)
  - ・ 新書や季節の本の特設コーナーを設置するなど、学校図書館の利用促進につながるような環境整備や、読み聞かせや市立図書館との連携を通じて読書活動の推進を図った。
  - ・ 協力員を9小中学校に5人配置した。
  
- 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業(学力検査の実施)
  - ・ CRT 学力検査(小学校～国語・算数、中学校～国語・数学・英語)を小学校全学年及び中学校 1、2 学年で実施し、各校の現状を分析し、指導方法の工夫・改善に向け取り組んだ。
  
- ICT 環境整備事業(小学校・中学校)
  - ・ ICT教育を推進するため、平成 30 年度からリースにより整備している実物投影機、大型テレビを活用して授業を進めた。
  - ・ ICT 機器の整備に並行して、教育研究所による ICT 研修講座を通し、活用方法について学ぶ機会を提供した。
  
- 小学校維持管理事業・中学校維持管理事業
  - ・ 市内小中学校屋体 LED 化整備工事  
潮見が丘小学校屋体、宗谷中学校屋体
  - ・ 市内小中学校トイレ様式化改修工事(繰越事業)  
稚内東小学校 和式 10 器撤去 洋式 5 器新規設置  
潮見が丘中学校 和式 14 器撤去 洋式 7 器新規設置
  
- 稚内中学校整備事業
  - ・ 稚内中学校等基本設計業務委託  
稚内中学校校舎及び屋体の改築等に伴う基本設計業務委託
  - ・ 稚内中学校改築実施設計業務委託  
稚内中学校校舎及び屋体の改築に伴う実施設計業務委託
  - ・ 稚内中学校改築地質調査業務委託  
稚内中学校改築に伴う建設区域の地質調査業務委託

○ 部活動指導員配置促進事業

- ・ 中学校における部活動指導体制の充実のため、部活動指導員を配置し、担当する教職員の支援とともに、技術の向上、適切な練習方法による事故やケガの未然防止を図った。(宗谷中学校2人)

**【地域との連携による家庭・地域教育の向上】**

〈125・169・189・191 ページ〉

○ 学校評議員設置事業

- ・ 開かれた学校づくりの推進と、学校がより地域と連携・協力しながら特色ある教育活動を発展させるため、評議員を配置した。
- ・ 評議員 40人(延べ24回実施)

○ 学校給食センター管理運営事業、学校給食供給事業

- ・ 実施回数及び給食数

	令和3年度		令和4年度	
	実施回数	食数	実施回数	食数
小学校	1,820回	317,795食	1,694回	284,025食
中学校	1,200回	164,164食	1,141回	143,766食
幼稚園・保育所	1,331回	84,141食	1,412回	76,179食
合計	4,351回	566,100食	4,247回	503,970食

- ・ 特色ある学校給食の実施

バイキング給食の実施(小学校5校:稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、潮見が丘小学校、富磯小学校)

季節行事食の提供(2回:クリスマス、ひなまつり)

中学校卒業記念行事食の提供(3年生を対象にデザートを提供)

○ 栄養教諭による食の指導実施

- ・ 小学校 10校 (36回)
- ・ 中学校 3校 (7回)

○ 学校給食地場産物提供事業

- ・ 地元食材を利用した給食提供回数 95回

稚内ブランド 42回 (一夜干姫ほっけ、稚内牛乳、宗谷の塩、宗谷黒牛)

地場産物(地元加工食品) 53回 (特製フランクソーセージ、さばの塩焼、ほっけのみりん焼き等)

- ・ 地元食材使用料理・郷土料理等の提供

鶏汁、各種すり身汁、呉汁、イモ団子汁、ジンギスカン、チャーメン、にんじんしりしり等

○ 学校給食費助成事業

- ・ 小中学校に通い、給食を受ける児童生徒の保護者に対して、1年間の給食費の半額相当分を助成した。

	令和3年度			令和4年度		
	児童・生徒	助成人数	助成率	児童・生徒	助成人数	助成率
小学生	1,418人	199人	15.49%	1,362人	147人	11.85%
中学生	742人	97人	15.16%	687人	84人	14.19%
合計	2,160人	296人	15.38%	2,049人	231人	12.61%

※助成率の算定に当たっては、児童・生徒数から生活保護及び就学援助該当者を除く。

○ 子どものための教育給付費支給事業

- ・ 子ども・子育て支援法に基づく支給認定を受けた子どもの就学前教育に要した費用を、特定教育施設へ支弁した。
- ・ 支給対象人員(延べ数)

	満3歳児	3歳児	4歳児以上	合計
幼稚園(1号)	124人	1,071人	2,600人	3,795人
幼稚園(2号)	6人	39人	52人	97人
合計	130人	1,110人	2,652人	3,892人

※ 1号認定：満3歳以上の学校教育のみ(保育の必要性なし)の就学前子ども

※ 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

私立幼稚園児童数の状況(令和4年5月1日現在)

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
稚内ひかり幼稚園	—	19人	21人	30人	70人
稚内大谷幼稚園	—	7人	12人	15人	34人
稚内富岡幼稚園	1人	20人	28人	27人	76人
稚内幼稚園	2人	14人	18人	12人	46人
認定こども園 稚内鈴蘭幼稚園	—	28人	21人	37人	86人
広域利用	—	—	—	—	—
年齢別合計	3人	88人	100人	121人	312人

○ 特定教育施設給食主食費助成事業

令和4年度 93件 401,000円 (昨年度 116件 560,500円)

※特定教育施設に通う児童の食事の提供に要する費用のうち主食の提供に要する費用の一部を助成した。

## 【将来の夢や希望の実現に向けた高校・大学教育との連携強化】

〈169 ページ〉

- 育英館大学修学支援事業（利子補給）
  - ・ 貸付枠 5億円（預託金の5倍）
  - ・ 利子補給率 1.125%
  - ・ 貸付人員 4人（貸付額 2,700千円） 昨年度 5人（貸付額 3,300千円）
  
- 育英館大学支援事業
  - ・ 大学の健全な運営に対する支援（寄附金） 50,000,000円
  
- 稚内大谷高等学校振興費補助事業
  - ・ 父母負担軽減助成金 2,000,000円
  - ・ 私立学校振興費 5,850,000円
  
- 稚内市奨学金貸付事業（高校就学に必要な資金の貸付）
  - ・ 貸付人員 18人（新規5人、継続4人、支度金9人）
  
- 稚内市大学育英金支給事業（給付）
  - ・ 支給対象者数 23人（新規7人、継続16人）
  
- 稚内市子どもの未来応援奨学金支給事業 ※新規
  - ・ 家庭状況により大学等への修学が困難な方に対し、日本学生支援機構の貸与型奨学金の返済を支援する給付型の奨学金制度を創設し、支給候補者の募集を開始した。

## (2) 市民の学びを支える地域づくり

### 【誰もが気軽に学べる生涯学習の推進】 〈175・177・179・181・183・185 ページ〉

- 社会教育推進事業
  - ・ 地域指導者活用の促進  
人材バンク活用の促進（登録数91団体、指導者数45人）  
各分野の活動団体を紹介する「学びと遊びの玉手箱」をホームページへ掲載し、さらに関係施設に配置するなどして学習の場を周知するとともに、掲載情報の更新作業を行った。

・ 稚内学の開設

	開催期間	講座内容	受講者数
前期	令和4年7月19日(火) ～9月13日(火)	「彫刻マップを”語る”」ほか 計3講座	49人
後期	令和4年11月22日(火) 令和5年3月17日(金)	「稚内あるある学 稚内人なら知っとこ!「お正月」の なぜ?」ほか 計2講座	46人
計		5講座	95人

・ 市民講座の開催

	開催期間	講座内容	受講者数
前期	令和4年6月14日(火) ～8月10日(水)	「心も体もリラックスゆったりヨガ」ほか 計6講座	48人
後期	令和4年11月5日(土) ～令和5年1月10日(火)	「サクッ!ふわあ～もちっ!ツイストドーナツづくり」 ほか 計6講座	114人
特別	令和5年2月4日(土)、 3月4日(土)	「ドレミニ琴教室」1講座	22人
計		13講座	184人

○ 稚内市20歳の集い開催事業

開催日	開催場所	対象者数	出席者数
令和5年1月8日(日)	稚内総合文化センター	370人	249人

○ 生涯学習総合支援センター管理運営事業

・ 生涯学習総合支援センター利用者数

		令和3年度	令和4年度
利用者数		13,444人	18,323人
内 訳	団体利用	12,912人	17,512人
	個人利用	99人	219人
	その他利用	433人	592人

○ 生涯学習運営事業

・ まなびふれあいフェスタ in わっかないの開催

実施事業	実績
生涯学習フェスティバル	ステージ発表14団体(約200人)、 体験コーナー10団体(約60人)、来場者 650人
レッツダンス!ハロウィンパーティー	来場者171人(保護者含む)
市民サークル展	参加団体 14団体
第19回SO-YA 夢コール(合同合唱祭)	出演者181人、来場者約300人

○ 生涯学習活動支援事業

- 生涯学習推進アドバイザーの配置及び派遣

アドバイザー2人を、生涯学習総合支援センターへ配置し、生涯学習相談の場を提供するほか、市民講座や市民グループの要請に応じて派遣。

- 高齢者大学の開催

	講座数	受講者数(延べ人数)
楽生大学(声問地区)	10 講座	125 人
いきいき大学(前・後期)	10 講座	60 人

- 子どもの広場の開催

	講座・コース数	受講者数
前期	4 講座・ 7コース	児童 52 人
後期	5 講座・ 7コース	児童 50 人

- 風へる主催体験事業

風へるクラブキッズ「木工作と調理」 前後期あわせて 10 回実施 参加者 17 人

風へる調理体験「そば打ち」2 回実施 参加者 7 人、「うどん作り体験」1 回実施 参加者 4 人

外部団体からの要請事業:うどん作り 令和 5 年 3 月 4 日(土) 参加者 4 人

そば打ち 令和 5 年 3 月 29 日(水) 参加者 10 人

○ 子ども会育成事業

実施事業	参加者数等	
	令和 3 年度	令和 4 年度
南極樺太犬慰霊祭	63 人	87 人
稚内市子ども会スポーツ大会	30 人	45 人
第 57 回稚内市新年子ども会かるた大会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	10 人
第 20 回宗谷管内子ども会かるた大会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	小学生 3 チーム 中学生 3 チーム

○ 青少年交流体験事業

実施事業	実施日	事業内容	受入・派遣人数
太田市交流事業(フレンドシップ 2022) 受入	—	交流体験学習、ソーラン交流 ほか	新型コロナウイルス感染症 の影響により中止
青少年交流体験事業 てっぺん風の子交流団派遣	—	交流体験学習、ソーラン交流、 歴史的建造物・産業の視察	新型コロナウイルス感染症 の影響により中止
枕崎市青少年交流事業受入	令和 4 年 8 月 5 日(金) ～8 日(月)	南極樺太犬慰霊祭参列、地場 産業体験、施設見学、学校間 交流 ほか	16 人(中学生 10 人、高校 生 4 人、引率 2 人)

○ 移動図書館運行事業

- ・ 運 行 日 数 185 日
- ・ ステーション数 36 ステーション(月 2 回)
- ・ 利 用 者 数 1,790 人(貸出冊数 7,437 冊) (昨年度 1,445 人(貸出冊数 6,175 冊))

○ ブックスタート事業

- ・ 毎月、保健福祉センターで実施される 7～8 か月乳児健康相談に参加した親子に、絵本 2 冊、読み聞かせアドバイス集などの入った「ブックスタートパック」をプレゼント。(配布数 183 組)

○ 図書資料整備事業、図書館維持管理事業

- ・ 利用状況

	令和 3 年度	令和 4 年度
入館者数(開館日数)	35,044 人(242 日)	42,273 人(289 日)
貸出図書数(市民一人年間冊数)	134,165 冊(4.21 冊)	141,162 冊(4.51 冊)
総蔵書数(増加図書数)	226,587 冊(7,492 冊)	217,709 冊(6,852 冊)
有効登録者数(新規登録者数)※	2,628 人(430 人)	2,665 人(437 人)
AV 視聴利用件数	577 件	1,745 件

※有効登録者数：年度内に図書の貸出を 1 回以上利用した実人数

- ・ 団体利用数 延べ 211 団体 (昨年度 延べ 146 団体)
- ・ ブックパック巡回 図書館で選書した学年層に合わせた図書(本のコンテナ:25 冊)を一定期間で巡回させる。(14 団体 幼稚園・保育園 5、小学校 6、中学校 3)

○ 図書館活動事業

実施事業	開催数・参加者数等	
	令和 3 年度	令和 4 年度
映画会	26 回開催／参加者数 91 人	61 回開催／参加者数 274 人
CD コンサート	—	11 回開催／参加者数 71 人
読み聞かせ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	45 回開催／参加者数子ども 65 人、大人 77 人
子ども読書週間	展示のみ実施	展示のみ実施
図書館フェスティバル	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	期間中 938 人来館 ※縮小して開催
夏休み子どもアニメ上映会	3 回開催／参加者数 延べ 39 人	19 回開催／参加者数 延べ 25 人
図書館まつり	期間中 942 人来館 ※縮小して開催	期間中 1,055 人来館 ※縮小して開催
読書感想文コンクール	応募 16 校 102 編／入選者数 44 人	応募 14 校 80 編／入選者数 42 人
冬休み子ども映画会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	12 回開催／参加者数 4 人
職員派遣等協力	8 件	7 件

○ 図書館活動事業(図書館ボランティア団体との連携事業)

- ・ブックスタートボランティア ラッコの会(会員数3人)

ブックスタート事業のボランティアとして、毎月、保健福祉センターで実施される7～8か月乳児健康相談に参加した親子に、絵本の読み聞かせや子育ての相談に応じる活動を実施。

※新型コロナウイルス感染症の影響により活動休止

- ・わからない図書館友の会(会員数80人)

花壇整備、七夕飾り、アイスクャンドルなど実施(おはなし会、ロビーコンサート、ハロウィンイベント等は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

- ・声の図書館(会員数10人)

朗読ボランティアとして目の不自由な方たちに、声の広報として毎月「広報わからない」、生活情報として「生活のひろば」や、リクエストに応じた朗読CDを作製、送付。

「広報わからない」12枚、「生活のひろば」12枚作製、送付件数144件

- ・葉の会(会員数8人)

朗読ボランティアとして目の不自由な方たちに、毎月1回北海道新聞「卓上四季」や、リクエストに応じた朗読CDを作製、送付。

「卓上四季」12枚作製、送付件数48件

○ 図書館活動事業(学校図書館支援事業)

- ・団体貸出の受け入れ 小学校55件1,704冊、中学校5件262冊
- ・学校図書管理システム(市内小中学校10校)の管理・運用支援
- ・学校図書館ガイダンスの実施 小学校7件163人
- ・学校図書館活用交流会の開催(教育研究所との共催):令和4年5月31日(火)

○ 青少年科学館主催事業

- ・青少年科学館 天文普及事業

実施事業	令和3年度		令和4年度	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者
市民天体観望会	2回	19人	3回	125人
移動天体観望会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		1回	17人
天文現象観望会	—	—	1回	56人
プラネタリウム学習	5回	99人	17回	433人

・ 青少年科学館 サイエンススクール事業

実施事業	令和3年度		令和4年度	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者数
オープンラボ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		6回	207人
サイエンスショー	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		1回	30人
わくわくサイエンス	5回	77人	4回	62人
サマースクール	1回	12人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
キッズチャレンジ	3回	27人	3回	21人
冬休み自由研究	1回	15人	2回	58人
大人のためのサイエンス工房	3回	13人	3回	23人
ちょこっとラボ	8回	191人	14回	194人
水族館&科学館「すいかまつり」	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		1回	450人
サイエンスクラブ	5回	40人	10回	50人

・ 青少年科学館 プラネタリウム事業

実施事業	入場者数	
	令和3年度	令和4年度
プラネタリウム一般投影	725人	1,042人
「南極の夜空オーロラ」投影	485人	269人
デジタル映像番組上映	—	3,232人

・ 青少年科学館 科学普及事業

実施事業	実施日	入館者数
企画展「脳がだまされる!?～ふしぎな錯視の世界」Part2	4月29日～6月30日	10,257人
巡回展「星の衝突で、何ができた?～月のうさぎと私たちの地球～」	2月1日～3月31日	4,099人
巡回展「62の月が織りなす多彩な世界」	2月1日～3月31日	4,099人

○ 青少年科学館管理運営事業

・ 青少年科学館入館者数

	令和3年度	令和4年度
入館者数	26,958人	38,733人
うち年間パスポート利用者数	延べ2,347人	延べ2,971人

・ プラネタリウムデジタル映像システムの導入

プラネタリウムデジタル映像システム器具(プロジェクター、ソフトウェア)一式を整備した。

○ 少年自然の家維持管理事業

・ 少年自然の家利用者数

		令和3年度	令和4年度
利用者数		4,492 人	6,153 人
内訳	宿泊者数	2,924 人	4,405 人
	日帰り者数	1,568 人	1,748 人

[利用別内訳]

		令和3年度	令和4年度
学校利用		120 団体 2,303 人	162 団体 3,844 人
社会教育団体利用		81 団体 1,479 人	82 団体 1,141 人
その他利用		34 団体 710 人	37 団体 1,168 人

・ 少年自然の家主催事業

実施事業	令和3年度		令和4年度	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者数
自然クラブ(日帰り及び宿泊)	5 回	143 人	6 回	234 人
わんぱくチャレンジ(日帰り及び宿泊)	3 回	80 人	5 回	122 人
わくわく土曜日(日帰り)	2 回	39 人	2 回	71 人
本気で自然体験(日帰り及び宿泊) 厳寒氷上穴つり	新型コロナウイルス感染症 の影響により中止		1 回	36 人

※「自然クラブ」は年7回のうち1回が新型コロナウイルス感染症の影響により中止

・ その他、少年自然の家の活動

		令和3年度	令和4年度
各学童保育所の受入れ		新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
スポーツ合宿の受入れ		18 団体／延べ 1,092 人	17 団体／延べ 1,540 人

○ 水族館水族飼育事業、水族館施設維持管理事業

・ 水族館入館者数

		令和3年度	令和4年度
入館者数		26,958 人	38,733 人
うち年間パスポート利用者数		延べ 2,347 人	延べ 2,971 人

・ 水族館夏期開館時間の延長(科学館と共同実施)

開館時間を 19 時 00 分までとし、2 時間の延長を実施

実施期間 令和4年8月11日(木)～8月16日(火)

時間延長による入館者数 94 人(大人 71 人、小人 23 人)

・ 水族館飼育体験学習

ペンギン・アザラシの飼育、給餌体験を通して動物とのふれあい

体験校 7 校、生徒数 25 人(昨年度 7 校、20 人)

- ・オープン企画展

	実施期間	入館者数
危険生物展	令和4年4月29日(金)～5月31日(火)	6,956人(大人4,835人、小人2,121人)

- ・夏期企画展

	実施期間
夏祭り企画展	令和4年7月11日(月)～10月31日(月)
カニ釣り体験	令和4年7月23日(土)～9月30日(金)

## 【生涯スポーツの推進】

〈185・187・189 ページ〉

- 日本最北端わっかない平和マラソン開催費補助事業

〔開催日 令和4年9月4日(日)〕

区分	令和3年度		令和4年度	
	エントリー	完走者	エントリー	完走者
フルマラソンの部	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		529人	439人
8kmの部			116人	104人
5kmの部			96人	72人
2kmの部			193人	170人
親子ペア(2kmの部)			34ペア	31ペア
合計			1,002人	847人

- 健康体カづくり推進事業

実施事業	参加者数等
体カづくり強調月間事業 (年齢別体カ測定事業)	開催回数1回、参加者数15人(昨年度1回、25人)
ニュースポーツの普及・啓発	・新体カテスト 5カ所、1,024人 ・ニュースポーツ用具の貸出63件
ウォーキング事業	・歩こう会 開催回数2回、参加者数55人 ・JR歩こう会 開催回数1回、参加者数18人 ・大步こう会 開催回数1回、参加者数43人

- スポーツ大会補助事業

補助金の名称	大会名
スポーツ全国大会出場補助金	・2022 第12回全日本少年軟式野球クラブチーム選抜大会(びわこカップ) ・第43回(2022年度)JSCAブロック対抗水泳競技大会 in 高知 ・第31回全国小学生バドミントン選手権大会 ・第16回全農日本ミックスダブルスカーリング選手権大会
スポーツ大会開催補助金	・第44回東日本軟式野球大会(2部)北・北海道大会 ・第50回北海道中学校柔道大会
稚内みどりチャレンジカップ 実行委員会補助金	・稚内みどり CHALLENGE CUP2022

○ 市民スポーツ活動促進事業

実施事業	事業実績
各種市民スポーツ活動促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアスポーツ教室 9 教室、登録者数 190 人</li> <li>・親子スポーツ教室 7 組</li> </ul>
スポーツ教室の開設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目別スポーツ教室 6 種目 6 教室、受講者 62 人</li> <li>・チャレンジスポーツクラブ</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</li> </ul>
スポーツ講習会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道講習会 受講者 97 人</li> </ul>
市民皆スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加型競技大会実施奨励と助成 6 団体</li> </ul>
指導者育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公認指導者の資質向上を図るため「スポーツ指導者研修会」受講者 53 人</li> <li>・公認指導資格取得及び資格更新講習会の参加交通費助成 新規講習 6 人、更新講習 5 人</li> </ul>
体育施設利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング機器の有効活用とトレーニング知識の習得のための「トレーニングセミナー」受講者 61 人</li> </ul>
表彰事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部門別功績賞(1 人)、スポーツ奨励賞(1 人)、功労賞(2 人)及び功績賞(5 人)を表彰</li> </ul>
競技力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全道レベルの強化事業及び研修事業参加助成 4 団体、4 事業</li> <li>・内部指導者等による研修事業開催助成 14 団体、27 事業</li> <li>・外部指導者等による研修事業開催助成 8 団体、8 事業</li> <li>・加盟団体主催強化事業助成 4 団体</li> </ul>
競技力向上講習会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 種目 延べ 383 人</li> <li>(内訳) 剣道講習会 延べ 94 人</li> <li>柔道講習会 延べ 37 人</li> <li>バスケットボール講習会 延べ 93 人</li> <li>サッカー講習会 延べ 65 人</li> <li>カーリング講習会 延べ 36 人</li> <li>スノーボード講習会 延べ 58 人</li> </ul>

○ 総合型地域スポーツクラブ補助事業

補助金の名称	内容
総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金	<p>稚内市スポーツ推進中期計画に定めるスポーツを通じた共生社会の推進を図るため、総合型地域スポーツクラブの設立を目的とする団体又は総合型地域スポーツクラブに対し助成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 4 年度実績: 1 団体</li> </ul>

○ スポーツ施設整備及び維持管理事業

・ 整備工事

施設名	内容
緑庭球場	緑庭球場整備工事
温水プール水夢館	高圧受電設備更新工事、屋根復旧工事
大沼球場	大沼第2球場LED照明交換工事
こまどりスキー場	こまどりスキー場斜面補修工事、第2ペアリフト整備工事

・ スポーツ施設利用状況

施設名	利用者数	
	令和3年度	令和4年度
総合体育館	28,897人	34,793人
市体育館	8,292人	10,585人
緑体育館	11,582人	13,905人
野球場（大沼球場、市営球場、若葉球場）	8,731人	13,824人
球技場（富士見球技場、若葉球技場）	5,002人	6,928人
ノシャップソフトボール場	0人	235人
庭球場（緑庭球場、宝来庭球場）	4,101人	3,885人
スキー場（こまどり・上勇知各スキー場）	11,893人	12,641人
パークゴルフ場（こまどり・ノシャップ公園各パークゴルフ場）	18,387人	18,186人
坂の下海水浴場	新型コロナウイルス感染症の影響により不開設	
学校体育館開放（中央小、南小、東小、潮見が丘小、港小、東中）	13,089人	16,259人
みどりスポーツパーク	29,464人	37,896人
水泳プール（潮見が丘、沼川、水夢館） （うち温水プール水夢館）	47,226人 (46,810人)	57,995人 (57,642人)

**【芸術・文化活動の環境づくり】**

〈179・183 ページ〉

○ 親子ふれあい映画鑑賞事業

- ・ 親子をはじめとする家族や友人と映画を鑑賞し、感動や楽しみを共有することで会話や交流の促進を図り、家族・友人間の絆を深めるとともに、優れた芸術・文化としての映画に触れることで教養を高めることを目的とし、小中学生には無料映画鑑賞券、その保護者（長子保護者）には鑑賞補助券を配布した。

〔令和4年度実績〕 対象者：小中学生 2,053人、保護者（長子保護者）1,688人

利用者（率）：小中学生 1,444人（70.34%）、保護者 924人（54.74%）

○ 稚内市文化振興育成補助事業

- ・ 文化事業の実施を促すとともに優秀な青少年の活躍を奨励し、文化振興促進に資することを目的として、市内の30歳までの男女及び青少年が所属する文化団体に対し、予算の範囲内で補助金を交付した。  
〔令和3年度実績〕 補助実績：1団体（指導者招へい事業）  
〔令和4年度実績〕 補助実績：2団体（指導者招へい事業・国内文化交流事業）

○ 稚内市民文化祭

実施事業	主催団体	開催場所	実施日
朔北美術協会展	朔北美術協会	文化センター 小ホール	令和4年8月23日(火)～ 令和4年8月28日(日)
第61回市民俳句大会	市民俳句大会実行委員会	文化センター 美術室	令和4年9月3日(土)
混声合唱団稚内フラウエンコール定期演奏会	混声合唱団稚内フラウエンコール	文化センター 大ホール	令和4年9月4日(日)
二派合同華道展	池坊、東池坊	文化センター ロビー	令和4年9月16日(金)～ 令和4年9月18日(日)
合同茶会	宗徧流正伝庵、和敬会	文化センター 小ホール、婦人文化室	令和4年9月16日(金)～ 令和4年9月18日(日)
わっかない子どもミュージックサークルエンジェルボイススマイルコンサート2022	わっかない子どもミュージックサークルエンジェルボイス	文化センター 大ホール	令和4年9月17日(土)
稚内市民書道展	稚内書道連盟	文化センター 小ホール	令和4年9月23日(金)～ 令和4年9月25日(日)
道民芸術祭・稚内市民総合芸能祭	稚内市文化協会	文化センター 大ホール	令和4年9月25日(日)
宗谷管内芸術祭短歌大会・市民短歌大会	短歌大会実行委員会	市立図書館	令和4年10月8日(土)
全日本写真連盟稚内支部会員展	全日本写真連盟稚内支部	市立図書館	令和4年11月6日(日)～ 令和4年11月13日(日)

○ 文化事業(主催、共催)

- ・ 第60回北海道吹奏楽コンクール稚内地区予選・第44回稚内地区吹奏楽祭
- ・ 第45回稚内地区管楽器個人コンクール・第46回稚内地区アンサンブルコンクール
- ・ 第37回音文協札幌稚内定期演奏会
- ・ 混声合唱団稚内フラウエンコール創立45周年 第35回定期演奏会
- ・ 第61回稚内市総合芸能祭
- ・ 清水ミチコ トーク&ライブ 2022
- ・ 和洋の楽器で心が踊る「名曲コンサート」

○ 総合文化センター維持管理事業

	工事内容
総合文化センター整備工事	配管改修主体工事、配管改修付帯建築工事、手動吊物装置改修工事、音響設備更新工事

**【自然・歴史・産業などを学ぶことによる郷土観の確立】**

〈179・183 ページ〉

○ 旧瀬戸邸維持管理事業

- ・ 旧瀬戸邸入館者数 3,634 人(昨年度 3,324 人)
- ・ 主催・共催事業の開催

実施事業	実施内容	主催団体	実施日
ワークショップ「水無月のお茶会」	市内団体と連携したワークショップ等の開催	稚内和服でおもてなし実行委員会	令和4年6月12日(日)
ワークショップ「七夕茶会～雅楽のタベ～」		稚内和服でおもてなし実行委員会	令和4年7月31日(日)
ワークショップ「節分のお茶会」		稚内和服でおもてなし実行委員会	令和5年1月21日(土)
ワークショップ「上巳の節句お茶会」		稚内和服でおもてなし実行委員会	令和5年2月26日(日)
旧瀬戸邸無料開館「20歳のための旧瀬戸邸写真館」	施設の活用(「稚内市20歳の集い」開催に伴い、記念撮影場所として無料開放)	—	令和5年1月8日(日)

○ 樺太記念館維持管理事業

- ・ 樺太記念館入館者数 15,244 人(昨年度 6,785 人)
- ・ 講座、特別展の開催

実施事業	実施日
企画展Ⅰ「斉藤マサヨシ写真展 利尻富士百景 2022」	令和4年8月10日(水)～ 令和4年9月30日(金)
企画展Ⅱ「稚泊航路と駅の歴史展-稚内と樺太を結んだ港駅と歴代の稚内駅-」	令和4年11月13日(日)～ 令和5年3月31日(金)

- ・ 企画展と連携した解説講座(ミュージアムトーク)の実施  
令和4年9月19日(月)、9月24日(土) 講師: 斉藤マサヨシ  
令和4年12月17日(土)、12月18日(日) 講師: 日向寺和裕

- 北方記念館管理事業
  - ・ 北方記念館入館者数 14,012 人(昨年度 7,913 人)
  - ・ 企画展の開催

企画展	実施日
①北方記念館ミニ企画展「稚内の鉄道-天北線の記憶-」	令和4年4月29日(金)～6月12日(日)
②宗谷管内巡回展「北のコウモリ」	令和4年7月15日(金)～8月15日(月)

- 大鵬幸喜上陸の地記念碑除幕式典補助事業
  - ・ 大鵬幸喜上陸の地記念碑建立除幕式の開催  
事業主体 大鵬幸喜上陸の地記念碑建立期成会  
開催日等 令和4年6月3日(金)  
※悪天候のためサフィールホテル稚内にて実施  
出席者数 32 人
- 稚内市歴史的建造物保全活動支援事業 ※新規
  - ・ 「旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊幕別送信所(赤れんが通信所)」の保存・普及に取り組む稚内市歴史・まち研究会に対して支援を行った。

### (3) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

#### 【妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実】

〈125・127・131 ページ〉

- ファミリーサポートセンター事業
  - ・ 会員同士が子育ての相互援助活動を行う組織

区 分	令和3年度	令和4年度
お願い会員(依頼会員)	135 人	123 人
まかせて会員(提供会員)	35 人	34 人
両方会員	15 人	13 人
合 計	185 人	170 人

[利用実績]

区 分	令和3年度	令和4年度
年間延べ利用件数	148 件	99 件

- 子育てのための施設等利用給付費支給事業

	令和3年度		令和4年度	
	認可	認可外	認可	認可外
年間延べ登録者数	1,718 人	60 人	1,446 人	68 人
年間延べ利用者数	1,370 人	60 人	1,058 人	68 人
年間延べ利用件数	14,015 件	60 件	10,527 件	68 件
年間延べ支給額	4,620,300 円	1,952,575 円	3,345,700 円	2,355,154 円

○ 児童家庭相談援助事業

- ・ 要保護児童対策地域協議会の開催

	令和3年度	令和4年度
個別ケース検討会議	18回	21回

- ・ 家庭児童相談員を配置し、家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、相談及び指導を行った。

[相談件数]

相談内容	令和3年度	令和4年度
養護相談(児童虐待含む)	68件	79件
障がい相談	1件	2件
非行相談	0件	1件
育成相談	5件	6件
その他相談	6件	3件
合計	80件	91件

○ 母子家庭等自立支援事業

- ・ 母子・父子自立支援員を配置し、母子家庭等の自立支援及び相談にあたった。

[相談件数]

相談内容	令和3年度	令和4年度
生活一般(医療など)	18件	13件
児童(養育・就職など)	0件	0件
経済的支援・生活援護	46件	59件
合計	64件	72件

○ ひとり親家庭等医療費助成事業

	対象者数	助成件数	
		入院	その他
母及び父、三親等	277人	24件	3,583件
児童	405人	25件	3,355件

○ 乳幼児等医療費助成事業

	対象者数	助成件数	
		入院	その他
小学校就学前	1,042人	170件	12,247件
小学生	1,110人	28件	9,705件
中学生	508人	12件	3,527件
高校生	559人	27件	4,052件

○ 保育所保護者負担助成事業

- ・ 子育て家庭に対する経済的負担の軽減を図るため、子どもが2人以上いる家庭を対象に保育料の一部を助成した。

助成児童数 延べ78人（昨年度 延べ69人）

助成金額 6,367,380円（昨年度 6,952,830円）

○ 出産・子育て応援事業 ※新規

- ・ 妊娠・子育て世帯等に対し出産育児関連用品の購入等の負担軽減を図るため給付金を支給した。

〔給付実績〕

区分	令和4年度
出産応援給付金	212人
子育て応援給付金	120人

○ 児童手当支給事業

区 分		3歳未満	3歳～小学校修了前	中学生
児童手当	被用者	3,562人	15,335人	5,584人
	非被用者	764人	3,202人	1,112人
特例給付		266人	806人	572人
合 計		4,592人	19,343人	7,268人

○ 児童扶養手当給付事業

- ・ 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立促進のために支給した。

区 分	令和3年度	令和4年度
全部支給者	1,716人	1,513人
一部停止者	1,595人	1,690人
2子加算	1,188人	1,125人
3子以降加算	337人	291人
合 計	4,836人	4,619人

○ 早期療育通園センター管理運営事業

- ・ 運動、知的、言語等の発達に遅れや障がい等があると思われる幼児等及びその家族に対して、児童福祉法に基づく児童発達支援(就学前児童)及び放課後等デイサービス(就学児童)としての指導及び相談を実施した。

〔利用実績〕

令和3年度		令和4年度	
延べ利用人数	うち他町村	延べ利用人数	うち他町村
2,320人	416人	2,431人	371人

○ 保育所管理運営事業

[児童数] 令和4年5月1日時点

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	定員
白樺保育所	4人	12人	18人	16人	20人	16人	86人	100人
(公立保育所計)	4人	12人	18人	16人	20人	16人	86人	100人
認定こども園 稚内鈴蘭保育園	4人	8人	9人	10人	8人	8人	47人	75人
富岡保育園	5人	10人	13人	13人	11人	10人	62人	60人
もぐもぐ保育園	—	—	4人	7人	9人	8人	28人	30人
オアシス保育園	4人	12人	14人	11人	11人	10人	62人	60人
きらきら保育園	2人	12人	14人	10人	8人	11人	57人	60人
(私立保育所計)	15人	42人	54人	51人	47人	47人	256人	285人
(市内保育所計)	19人	54人	72人	67人	67人	63人	342人	385人
沼川保育所	—	—	—	3人	5人	7人	15人	50人
勇知保育所	—	—	—	1人	2人	2人	5人	30人
恵北保育所(休所)	—	—	—	—	—	—	—	30人
宗谷保育所	—	—	—	11人	18人	11人	40人	60人
(へき地保育所計)	—	—	—	15人	25人	20人	60人	170人
豊富保育園	—	2人	—	—	1人	—	3人	120人
(広域利用計)	—	2人	—	—	1人	—	3人	120人
合計	19人	56人	72人	82人	93人	83人	405人	675人

○ 子どものための保育給付費支給事業

- ・ 子ども・子育て支援法に基づく支給認定を受けた子どもの保育に要した費用を特定保育施設へ支弁した。

支給対象人員

	乳児	1~2歳児	3歳児	4歳以上児	合計
保育所(2号)	—	—	601人	1,163人	1,764人
保育所(3号)	224人	1,161人	—	—	1,385人
合計	224人	1,161人	601人	1,163人	3,149人

※ 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

※ 3号認定：満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

○ 病児保育事業

[利用状況]

	令和3年度	令和4年度
登録者数	55人	29人
利用人数	0人	2人

○ 特定保育施設給食主食費助成事業

令和4年度 47件 373,600円（昨年度 47件 379,200円）

※特定保育施設に通う食事の提供に要する費用のうち主食の提供に要する費用の一部を助成した。

○ 養育医療給付事業

- ・ 養育のため入院が必要な未熟児に対して、医療費の一部を給付した。

年度	令和3年度	令和4年度
給付実績	7人	3人

○ 妊産婦健康支援事業、特定不妊治療費助成事業

事業内容	区分	令和3年度	令和4年度
マタニティ教室	実施回数	13回	15回
	受講者数	98人	115人
にこにこ赤ちゃん・もぐもぐ赤ちゃん教室	実施回数	5回	12回
	受講者数	35人	85人
妊婦健康診査	受診件数	3,210件	2,643件
産婦健康診査	受診件数	324件	284件
特定不妊治療費助成事業	助成人数	19人	29人
こんにちは赤ちゃん事業	訪問者数	123人	125人

○ 乳幼児健診・相談事業、乳幼児歯科健診事業

事業内容		区分	令和3年度	令和4年度
乳幼児健康診査等	3～4か月児 健康診査	健診回数	12回	12回
		受診者数	168人	156人
	7～8か月児 健康相談	相談回数	12回	12回
		受診者数	176人	169人
	1歳児 健康相談	相談回数	12回	12回
		受診者数	182人	176人
	1歳6か月児 健康診査	健診回数	12回	12回
		受診者数	173人	169人
	3歳児 健康診査	健診回数	12回	12回
		受診者数	173人	182人
	股関節脱臼検診	検診回数	12回	12回
		受診者数	172人	155人
母子訪問	実施者数	635人	614人	
フッ化物塗布事業	実施回数	31回	31回	
	実施者数	672人	656人	
サロライド塗布事業	実施回数	31回	31回	

※親子クッキング教室は、令和4年度より乳児を対象に「にこにこ赤ちゃん教室・もぐもぐ赤ちゃん教室」として実施

## 【子育て環境の充実】

〈125・127・129 ページ〉

### ○ 子育て世代包括支援センター運営事業 ※新規

- ・ 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築し、妊娠・出産・子育てに関する相談を行った。

[年間延べ相談件数]

区分	令和4年度
妊婦	713 件
産婦	205 件
乳児	992 件
幼児	383 件
学童	4 件
思春期	2 件
合 計	2,299 件

- ・ 子育て応援サイト・アプリ え〜る

[利用状況]

	令和3年度	令和4年度
Web サイトアクセス数	81,823 件	59,802 件
アプリユーザー数(延べ)	665 人	747 人

### ○ 地域子育て支援事業

年 度	箇所数	交流の場利用者数		相談件数	情報提供件数
		子ども	保護者		
令和3年度	3 か所	4,584 人	3,775 人	364 件	1,427 件
令和4年度	3 か所	4,829 人	3,829 人	258 件	1,609 件

### ○ 児童館管理運営事業

- ・ 児童館活動、「子ども通貨タラ」事業

[利用状況 (※その他利用を除く)]

	令和3年度	令和4年度
中央児童館	2,822 人	4,301 人
東児童館	7,555 人	6,344 人
富岡児童センター	2,914 人	2,285 人
港ふれあいセンター	1,691 人	1,763 人
南児童館	5,223 人	5,601 人
合 計	20,205 人	20,294 人

○ 学童保育所管理運営事業

[利用状況 (年間平均登録児童数)]

名称 (定員)		令和3年度	令和4年度
中央学童保育所	(35)	21人	18人
緑学童保育所	(60)	53人	58人
東学童保育所	(35)	68人	58人
富岡学童保育所	(65)	44人	35人
合計		186人	169人

○ 放課後子ども教室推進事業

[利用状況]

	令和3年度	令和4年度
声問小放課後子ども教室	1,395人	1,044人
増幌小放課後子どもふれあい教室	549人	休止

**【地域の中で子どもを見守り育てる社会の形成】**

〈177 ページ〉

○ 子育て推進事業

- ・ 子育ての日事業(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
- ・ 子育て平和の日記念式典の開催  
開催日等 令和4年9月1日(木)宗谷岬公園  
出席者数 121人(昨年度111人)
- ・ 平和折り鶴祭の開催  
開催期間 令和4年7月29日(金)～8月15日(月)  
展示場所 中央商店街アーケード、市庁舎、市立図書館、キタカラ  
展示数 184,838羽
- ・ 平和学習の充実(平和学習資料の配布、稚内市子ども会議 ほか)
- ・ 子育て意識啓発(稚内市教育講演会、全市子育て運動交流研修会の開催)

○ 稚内市子ども安全育成センター運営事業

- ・ 街頭育成補導活動  
定例、特別街頭育成補導の実施(年37回 105人参加)、専任育成員による街頭育成補導活動
- ・ 「校外生活のためあて」配布(配布数 市内小中高校生 2,713人)
- ・ 非行防止ポスター、標語の募集 (ポスター 97点、標語 196点)
- ・ 有害環境の浄化(有害図書類取扱店立入調査 ほか)
- ・ スクールガードボランティア登録数 市内6地区396人(令和5年3月31日)
- ・ 安全・安心マップ配布(市内小学校222枚) 新1年生206枚、掲示用配布16枚

## 安らぎの空間に笑顔あふれる“基盤づくり”

### (1) 時代に適応した公共交通・都市間交通の整備

#### 【持続可能な地域公共交通の確保】

〈97・105 ページ〉

- 市内生活交通路線維持事業
  - ・ 3 路線(富士見線・坂の下線・声問線):利用者数 247,123 人(昨年度 236,900 人)
- 稚内市地域公共交通活性化協議会補助事業
  - ・ 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシーの運行 利用者数 8,057 人(昨年度 8,491 人)
  - ・ 抜海・クトネベツ地区スクールバスへの高校生混乗実証運行(運行期間 令和4年9月～令和5年3月)  
混乗可能運行日数 118 日 利用者数 176 人(予約数)
  - ・ JR抜海駅乗降調査(調査月 令和4年10月)  
調査日数 31 日 【上り】乗車人数 24 人 降車人数 152 人 【下り】乗車人数 124 人 降車人数 14 人
  - ・ 抜海・クトネベツ地区乗合タクシーの実証運行(運行期間 令和5年3月13日～令和5年3月17日)  
運行日数 5 日 利用者数 20 人
  - ・ 稚内市地域公共交通活性化協議会の開催 3 回
- 天北線生活交通路線維持事業
  - ・ 5 路線:利用者数 88,722 人(昨年度 76,388 人)

#### 【交通基盤整備の推進】

〈97 ページ〉

- 宗谷本線活性化推進事業

実施事業	事業内容	実施日・参加人数等
宗谷線乗っとくキャンペーン事業	ラベンダー編成又は花たびそうや号の写真をSNSに投稿した画面を提示した方に、キャンペーン限定の乗車記念カードを発行した。	令和4年4月29日(金)～6月10日(金) 実績 268 枚
観光列車「花たびそうや」号へのおもてなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆるキャラ、横断幕によるお出迎え、お見送り</li> <li>・ノベルティの配布</li> <li>・歓迎パネル及び稚内ブランドをPRするパネルの設置</li> <li>・稚内市民観光ボランティアガイドによる観光アナウンス</li> </ul>	令和4年5月14日(土)～6月5日(日)の間の土日(計8回)
ちよい旅ウォーキング	駅長の講話を聴き、その後、稚内駅から豊富駅までJRを利用し、豊富駅から豊富温泉までウォーキングを実施した。	令和4年10月2日(日) 参加者数:18 人
「HOKKAIDO LOVE！ひとめぐり号」へのおもてなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆるキャラ、横断幕によるお見送り</li> <li>・列車車内での特産品販売</li> </ul>	令和4年10月8日(土)
「まんぷくサロベツ号」へのおもてなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆるキャラ、横断幕によるお出迎え、お見送り</li> <li>・列車車内での特産品販売</li> </ul>	令和4年11月12日(土)・13日(日)

○ 抜海駅維持管理事業

- ・ 駅舎等の点検・修繕に係る費用や除雪作業に係る費用等、抜海駅の維持管理に必要な費用を負担した。

**【空港の活性化と就航率の向上】**

〈163 ページ〉

○ 稚内空港整備国直轄事業〔総事業費 53,027,000 円 (うち、市負担金 3,957,598 円)〕

事業箇所	事業概要
稚内空港	用地造成一式

**(2) 安全・安心な都市基盤の整備と安らぎと笑顔が見える空間の創出**

**【維持管理と改築更新の計画的な実施】**

〈157・159・163・165 ページ〉

○ 道路ストック整備事業(社会資本整備総合交付金事業)

- ・ 市内幹線道路舗装整備工事  
声間更喜苔内線(L=110m)  
こまどり1号通(L=160m)
- ・ 市内幹線道路舗装整備付帯工事

○ 道路・河川大雨対策事業

- ・ 管路浚渫業務委託(シュルコマナイ川、緑15条通路面柵、潮見南6条通路面柵)
- ・ 河川監視カメラ維持管理(チララウスナイ川、シュルコマナイ川)

○ 副港通道路整備事業(社会資本整備総合交付金事業)

- ・ 副港通道路整備工事(L=117.2m)

○ 単独地方道路整備事業

- ・ クサンル川護岸整備工事(L=19m)
- ・ 緑富岡環状線歩道整備工事(L=196m)
- ・ こまどり17号通側溝整備工事(L=90m)
- ・ 朝日9条通側溝整備工事(L=72m)
- ・ 恵比須3条側溝整備工事(L=75m)
- ・ ひばりヶ丘3号通側溝整備工事(L=30m)

○ 橋梁長寿命化整備事業(社会資本整備総合交付金事業)

- ・ 橋梁長寿命化補修工事  
若草大橋補修工事(橋脚補修一式)  
増幌七線橋補修工事(伸縮装置補修一式)
- ・ 橋梁長寿命化補修付帯工事
- ・ 橋梁定期点検業務負担金 点検数 39 橋

○ 緑・富岡環状通街路整備事業(社会資本整備総合交付金事業)

- ・ 緑・富岡環状通家屋調査業務委託
- ・ 緑・富岡環状通街路整備工事(L=247.81m)
- ・ 緑・富岡環状通交通施設移設工事
- ・ 緑・富岡環状通街路整備付帯工事

○ 稚内港ふ頭保安管理事業

- ・ 中央ふ頭、末広ふ頭、天北1号ふ頭、天北2号ふ頭の SOLAS 条約による制限区域内の 24 時間体制警備

○ 稚内港改修国直轄事業〔総事業費 340,000,000 円 (うち、市負担金 51,174,494 円)〕

事業箇所	事業概要
北地区	護岸(防波)(北)(改良)一式

○ 宗谷港改修国直轄事業〔総事業費 102,600,000 円 (うち、市負担金 34,207,342 円)〕

事業箇所	事業概要
本港地区	物揚場(-2.5m)(西船溜)一式

○ 稚内港改修国庫補助事業(社会資本整備総合交付金事業)

事業箇所	事業概要
港地区	物揚場及び岸壁 L=24m 道路改良 L=70m

○ 稚内港改修単独事業

事業箇所	事業概要
港地区	第一副港船揚場浚渫 一式

○ 海岸保全国庫補助事業

事業箇所	事業概要
潮見地区	護岸改良 L=6m、消波ブロック裾付一式
潮見地区(繰越)	消波ブロック製作一式
ノシヤップ地区	護岸改良 L=100m

## 【安全・安心な住環境の確保】

〈103・135・157・159・161・163 ページ〉

### ○ 地域情報通信基盤維持管理事業

- ・ 通信事業者によるブロードバンド未整備地区での高速インターネット利用環境実現のために整備した光ケーブル等設備の維持管理を行った。

#### 【整備対象地区】

声問地区、西浜地区、恵北地区、樺岡地区、沼川地区、曲渕地区、川西地区、川南地区、開進地区、豊別地区、上声問地区、更喜苦内地区、天興地区、曙地区、抜海地区、クトネベツ地区、勇知地区、オネトマナイ地区、富士見地区、宗谷地区、増幌地区、清浜地区、富磯地区、宗谷岬地区、東浦地区市街地一部

整備地域世帯数	加入数(令和4年度)	総延長距離数
3,041 件	1,524 件(加入率 50.1%)	234 km

### ○ 街路灯管理事業

- ・ 公共灯 LED 化整備工事【土木課管理分】

整備数 618 灯

LED 化率(累計) 100%(平成 30 年度に LED 化率 100%)

- ・ 街路灯設置助成金【防犯灯】 165 基  
各町内会に設置費の 2/3 以内を助成  
申請町内会件数 16 町内会
- ・ 街路灯電気料助成金【防犯灯】 3,591 灯  
各町内会に電気料の 8/10 以内を助成  
申請町内会件数 63 町内会

### ○ 都市公園等維持管理運営事業

- ・ 公園維持補修  
ちびっこ広場維持補修、市内各公園施設維持補修
- ・ 公園維持管理  
指定管理者制度等の業務委託を活用した維持管理（都市公園 19 箇所、その他 2 箇所）

### ○ 街区公園等整備事業

- ・ 遊戯施設改築工事(宝来公園、緑ヶ丘公園、潮見公園)
- ・ ノンチャップ公園遊具改築外工事

### ○ 稚内公園整備事業

- ・ 擁壁改修工事(社会資本整備総合交付金事業)
- ・ 稚内公園送配水ポンプ室機械設備更新工事

- 市営住宅個別改善事業(社会資本整備総合交付金事業)
  - ・ 長寿命化に関する実施設計(配管改修)  
末広団地(1棟16戸)
  - ・ 長寿命化に関する工事  
配管・建具・屋根・外壁改修 末広団地(1棟24戸)
  
- 空き家対策事業
  - ・ 老朽危険空き家除却費補助金実績 2件 925,000円 (昨年度 0件)
  - ・ 稚内市空家等対策協議会の設置 2回開催
  
- 稚内港維持管理事業
  - ・ 公共灯LED化整備工事【港湾空港課管理分】 95基  
稚内港  
整備数(累計) 265灯/643灯  
LED化率(累計) 41.2%
  
- 浄水場等整備事業
  - ・ 北海道生活基盤施設耐震化等事業(道補助事業)  
基幹水道構造物の耐震化事業(萩ヶ丘浄水場耐震補強工事)
  - ・ 萩ヶ丘浄水場空調設備整備工事(室内ユニット ほか)
  - ・ 萩ヶ丘浄水場火災報知器更新工事(自動火災報知設備 ほか)
  - ・ 萩ヶ丘浄水場機械設備更新工事(一系傾斜板沈殿装置 ほか)
  
- 導水・配水施設整備事業
  - ・ 北海道生活基盤施設耐震化等事業(道補助事業)  
老朽管更新事業(旧導水管撤去) L=470m
  - ・ 栄19号通配水管布設替工事 L=135m
  - ・ 増幌地区配水管布設工事 L=640m
  - ・ こまどり1号通配水管布設替工事 L=264m
  - ・ 緑富岡環状線配水支管布設替工事 L=130m 消火栓移設 1基
  - ・ 栄3条通配水管布設替工事 L=155m
  - ・ 中央地区配水管布設替工事 L=286m
  
- 雨水管渠整備事業
  - ・ ウエンナイ川右岸排水区雨水管渠布設その1工事(φ250mm～450mm、L=547m)
  - ・ ウエンナイ川右岸排水区雨水管渠布設その2工事(φ600mm、L=103m)
  
- 水洗化普及促進事業
  - ・ 合併処理浄化槽設置助成金実績 8件 6,200,000円 (昨年度 6件 4,750,000円)  
※水洗化率 94.2%

## 【中心市街地の再生】

〈95・151 ページ〉

### ○ 庁舎整備事業

年度	事業内容
令和元～2年度	庁舎整備基本構想・基本計画策定業務委託
令和3～4年度	庁舎建設基本・実施設計業務委託

### ○ 地域交流センター管理運営事業

- ・ 利用状況 全体利用者数 870,079人（昨年度 759,924人）  
アトリウム・市民活動室利用団体数 211団体（昨年度 156団体）  
中心市街地活性化事業（自主事業） 15回実施（昨年度 14回実施）

## (3) 緊急時に備えた地域防災力の強化

### 【地域防災力の強化】

〈107 ページ〉

#### ○ 自主防災組織育成事業

- ・ 令和5年3月31日現在の自主防災組織結成数  
大黒三、大黒二、白樺、潮見第二、ひばり、声問、こまどり、緑ヶ丘、北四、ひかり、さくらヶ丘、南四、仲好、緑第二、末広、緑一、今恵、朝日、南三、南二  
合計20団体（令和4年度は2団体（南三、南二）が新規に結成）
- ・ 「地域ごとの避難計画」作成支援  
災害が発生した際、地域住民が安全に避難できるための計画である「地域ごとの避難計画」の作成を支援  
令和5年3月31日現在の地域ごとの避難計画作成町内会数  
抜海、西浜、豊浜、富士見、今恵、白樺、末広、声問、大黒二、潮見第二  
合計10町内会（令和4年度は1団体（潮見第二）が新規に作成）
- ・ 防災啓発  
防災講演等の開催 計13件（うち、防災講演10件、防災訓練2件、ワークショップ1件）
- ・ 「一日防災学校」への支援  
対応数：7校（稚内中学校、稚内中央小学校、稚内東中学校、天北小中学校、潮見が丘中学校、稚内東小学校、潮見が丘小学校）  
内容：防災講話、防災資機材の組立体験（段ボールベッド、ルームテント）、避難所開設演習等
- ・ 地域防災における交流会  
開催日：令和5年2月22日（水）  
場所：稚内総合文化センター 小ホール  
参加者：55人（自主防災組織11組織、町内会14町内、企業・団体13団体）  
内容：【第一部】説明（自主防災組織の活動内容と市が支援可能な防災訓練等の紹介）  
【第二部】意見交流

## 【災害時の迅速な情報収集と伝達手段の強化】

〈107 ページ〉

### ○ 防災情報収集・伝達事務

#### ・ 防災情報メール配信サービス

登録者に対して災害情報や市民生活に関わる緊急のお知らせをメールで配信するもの。

〔配信情報〕

地震・津波・土砂災害等に関する気象情報、避難に関する情報、災害等に関連して発生した道路通行止め情報、小中学校休校情報、バス・タクシー・JR・フェリー・飛行機 運休情報等

〔登録件数〕 242 件(累計:6,675 件)

〔配信件数〕 85 件

内訳(重複あり)

気象警報 関連	土砂災害 関連	洪水警報 関連	道路通行 止め関連	公共交通 機関関連	臨時休校・ 休館関連	避難 関連
29 件	4 件	2 件	16 件	25 件	6 件	0 件
その他						
竜巻注意関連	停電関連	訓練・テスト関連	新型コロナウイルス感染症関連			
3 件	0 件	0 件	0 件			

## 【災害の発生を想定した対応】

〈107 ページ〉

### ○ 災害対策事業

〔主な備蓄品の令和5年3月31日現在の備蓄数合計〕

#### ・災害備蓄品

備蓄品	備蓄数	うち令和4年度購入
毛布	5,157 枚	—
コンパクトブランケット	5,040 枚	—
敷マット	200 枚	—
防災マット	5,550 枚	—
アルファ米(備蓄食糧)	5,200 食	1,700 食
飲料水(20)	1,506 本	360 本
簡易トイレ用袋	4,100 枚	1,000 枚
備蓄用トイレトーパー	1,572 本	300 本
備蓄用生理用品	430 個	430 個
液体ミルク	24 本	24 本
カセットガスストーブ	300 台	—
カセットガスコンロ	50 台	—
カセットガスボンベ	426 本	126 本

備蓄品	備蓄数	うち令和4年度購入
コンパクトLEDライト	66個	—
避難所用屋内テント	22張	—
避難所用間仕切4部屋セット	44セット	—
照明器具(投光器)	9台	—
発電機 1.6kva	7台	—
発電機 2.5kva	1台	—
コードリール	8台	—
ジェットヒーター	1台	—
ペットケージ	8個	—
ガソリン携行缶	8個	—
フラットコード	8本	—
段ボールベッド	186台	—
手指消毒剤	160本	—
医療用マスク(50枚入)	877個	—
フェイスシールド	110枚	—
薬用泡ハンドソープ	168本	—
ペーパータオル(200枚入)	154個	—
シューズカバー(100枚入)	126箱	—
使い捨て手袋(100枚入)	882箱	—
非接触型赤外線体温計	44台	—
ウェットティッシュ(200袋入)	40箱	8箱
防護服	110着	—
トイレ用テント	88個	—

・福祉避難所 備蓄品

備蓄品	備蓄数	うち令和4年度購入
毛布	105枚	—
飲料水(500ml)	4,416本	1,680本
アルファ米(備蓄食料)	2,350食	900食
寝具一式	105組	—
折畳みベッド	105台	—
パーテーション	105枚	—

・防災備蓄コンテナ(富士見、声間、東浦) 備蓄品

備蓄品	備蓄数	うち令和4年度購入
毛布	300 枚(100 枚×3 箇所)	—
コンパクトブランケット	300 枚(100 枚×3 箇所)	—
アルファ米(備蓄食糧)	2,700 食(900 食×3 箇所)	—
簡易トイレ用袋	2,700 枚(900 枚×3 箇所)	—
備蓄用トイレトペーパー	1,080 本(360 本×3 箇所)	—
備蓄用生理用品	4,320 個(1,440 個×3 箇所)	—
粉ミルク	3 缶(1 缶×3 箇所)	3 缶
カセットガスコンロ	30 台(10 台×3 箇所)	—
カセットガスボンベ	576 本(192 本×3 箇所)	—
医療用マスク(50 枚入)	6 個(2 個×3 箇所)	—
シューズカバー(100 枚入)	12 箱(4 箱×3 箇所)	—
ウェットティッシュ(200 袋入)	3 箱(1 箱×3 箇所)	—
防護服	15 着(5 着×3 箇所)	—
発電機 1.8kva	6 台(2 台×3 箇所)	—

## 地域の資源を活かした魅力ある“仕事づくり”

### (1) 次代へつなぐ魅力ある第1次産業の持続的発展

#### 【日本一の漁場が育む漁業の維持・発展】

〈149 ページ〉

○ 漁場整備事業費補助事業

- ・ 沿岸地域における豊かな水産資源の確保及び漁場環境の維持・向上を目的とした漁場整備事業のうち、藻場再生に対し補助金を交付した。

魚粕 18t散布

総事業費 3,737,700円 市補助金額 1,155,582円

○ 水産加工業振興助成事業

- ・ 水産加工残滓を産業廃棄物処理事業者が収集し、又は運搬し、稚内市バイオエネルギーセンターで処理する場合に発生する経費に対し助成金を交付した。

利用者 10事業者

数量 72.74t

助成金 1,127,470円(1t当たり15,500円の助成)

○ 資源育成強化対策事業費補助事業

- ・ 漁業資源増大、生産性向上を目指し、漁業者自らが行う資源育成事業及び調査試験事業で漁業振興を図る取り組みに対し補助金を交付した。

稚ウニ放流 40万粒

総事業費 4,442,700円 市補助金額 2,021,350円

稚ナマコ種苗 生産：幼生540万粒、稚ナマコ77万3千個

放流：幼生540万粒、稚ナマコ34万7千個

総事業費 4,936,866円 市補助金額 1,319,650円

○ 沿岸漁業担い手育成事業費補助事業

- ・ 沿岸漁業の活性化を担う漁業を志す者又は漁業就業者の育成を図る取り組みに対し補助金を交付した。

資格取得研修 3人

総事業費 237,910円 市補助金額 108,955円

○ 水産振興制度資金支援事業

- ・ 稚内市漁業近代化資金利子補給金

年度	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
令和3年度	88件	790,300,000円	5,967,539円
令和4年度	90件	936,500,000円	6,326,790円

・ 稚内市漁業近代化資金保証料補給金

年度	利子補給対象件数	資金借入承認額	保証料補給金
令和3年度	11件	137,500,000円	78,950円
令和4年度	33件	377,000,000円	1,109,717円

・ 水産加工経営安定化資金利子補給金

年度	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
令和3年度	11件	新規申請なし	146,234円
令和4年度	2件	新規申請なし	3,998円

・ 稚内市ホタテガイ災害対応資金利子補給金

年度	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
令和3年度	5件	—	77,830円
令和4年度	1件	—	1,731円

・ 稚内市ホタテガイ災害対応資金保証料補給金

年度	保証料補給対象件数	資金借入承認額	保証料補給金
令和3年度	5件	175,000,000円	4,303,750円
令和4年度	1件	15,000,000円	330,000円

○ 海獣類漁業被害防止対策事業費補助事業

- ・ トド及びビアザランによる漁業被害の防止・軽減を図ることを目的として対策を実施する事業に対し補助金を交付した。

総事業費 1,518,770円 市補助金額 716,940円

○ 海洋ごみ回収処理推進事業

- ・ 漁業者自らが操業中にボランティアで回収したロープやプラスチック容器などの「海洋ごみ」を処分した。

処分量 6.06t 総事業費 1,238,820円

○ 漁業振興設備等整備事業費補助事業 ※新規

- ・ 生産体制の強化を図るため施設整備を行う漁業協同組合に対し、北海道の地域づくり総合交付金を活用し補助金を交付した。

総事業費 239,470,000円 市補助金額 77,600,000円

## 【広大な農地から供給される農畜産物の生産力向上】

〈143・145 ページ〉

### ○ 稚内市グリーンパートナー推進協議会運営費補助事業

- 令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、本協議会主催による「交流会」や「セミナー」を開催することはできなかったが、北海道農業公社主催による農業後継者と独身女性との交流会への参加(稚内市から男性1人参加)や、酪農男性が結婚したことにより結婚祝い金(1人、3万円)を贈呈した。

実施事業	参加者
北海道ふれあい交流会(12月)(北海道農業公社主催事業)	酪農男性14人、女性11人

### ○ 酪農ヘルパー事業費補助事業

	加入戸数	利用延日数	補助額
稚内酪農ヘルパー利用組合	55戸	1,858.5日	8,383,000円
沼川酪農ヘルパー利用組合	52戸	1,159.0日	5,647,000円
合計	107戸	3,017.5日	14,030,000円

### ○ 農業関係利子補給金等事業

- 農業経営基盤強化資金(経営改善措置の実施に必要な長期資金)に対する利子補給金

	件数	融資残高	利子補給額
北宗谷農業協同組合稚内支所 (旧稚内農業協同組合)	4件	8,940,985円	30,321円
北宗谷農業協同組合沼川支所	6件	28,673,284円	86,922円
その他	1件	295,273,287円	797,237円
合計	11件	332,887,556円	914,480円

### ○ 新規就農者支援事業費補助事業

- 補助金支給実績

補助金等の名称	支給内容	令和3年度	令和4年度
経営自立補助金	年間賃借料の1/2相当額を5年間補助	6人	6人
経営安定補助金	施設等の固定資産税相当額を3年間補助	3人	2人
営農実習奨励金	営農実習開始時から1ヶ月10万円以内の額を2年以内の期間で補助	0人	0人
経営開始奨励金	経営開始時に一時奨励金(100万円)を支給	1人	1人

### ○ 中山間地域等直接支払交付金事業

- 農業の生産性、付加価値向上などによる農業収益の向上、耕作放棄地の防止及び農村の活性化を図ることを目的に、農業者に対して交付金を直接支払う制度

集落数	参加農家戸数	対象面積	交付金額
2	137戸	110,036,110 m <sup>2</sup>	165,054,165円

○ 家畜自衛防疫事業

- ・ 牛の予防注射の費用の一部を助成した。

北宗谷農業協同組合稚内支所(旧稚内農業協同組合) 8,452 頭

北宗谷農業協同組合沼川支所 7,200 頭

○ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

- ・ 地域の畜産の収益性の向上に資する施設及び当該施設と一体的な設備の整備に要する経費の一部を支援した。

事業地区	施設概要	補助対象額	補助金額
増幌地区	家畜飼養管理施設等整備工事【家畜飼養管理施設付帯設備(装置・機械)】	129,140,000 円 (工事費)	57,500,000 円

○ 農業基盤の整備〔道営事業・公社営事業〕

地区名	事業名(事業年度)	事業概要
稚内第3	道営草地整備事業 (令和2～令和6年度)	草地整備改良 667.4ha 草地造成改良 2.8ha 用排水施設整備 206.4ha
沼川南	道営草地整備事業 (平成30～令和4年度)	草地整備改良 427.2ha 草地造成改良 4.5ha 用排水施設整備 57.1ha
権岡第2	道営公共牧場整備事業 (令和3～令和10年度)	家畜保護施設2棟 管理施設、雑用施設、牧場用機械 草地整備改良 287.2ha
クトネベツ	道営営農用水整備事業 (令和3～令和7年度)	送水施設、送配水管 L=14,050m
北沼川 ※新規	畜産担い手育成総合整備事業 (令和4～令和7年度)	草地整備改良 390.6ha 草地造成改良 25.4ha 家畜保護施設整備 1棟

○ 大規模草地管理運営事業

	令和3年度	令和4年度
育成牛	266,216 頭	255,251 頭
哺育牛	40,406 頭	41,647 頭
合計	306,622 頭	296,898 頭

## 【森林の多面的機能の発揮と林業の振興】

〈147 ページ〉

- 豊かな森づくり推進事業
  - ・ 公共造林事業により実施した植林のうち、市が事業費の一部を補助した場合に道が市に補助する。  
事業期間 令和3年度～令和12年度  
循環利用タイプ 43.42ha
- 市有林造林事業
  - ・ 造林：宗谷地区 5.00 ha（秋期造林 アカエゾマツ 10,000 本）
  - ・ 下刈：宗谷岬・東浦地区 43.0 ha
  - ・ 間伐：川西地区 21.9 ha
  - ・ 保育間伐：東浦地区 8.5 ha
- 緑化推進事業
  - ・ 無料苗木配布 ブルーベリー 320 本
- 市民植樹祭事業
  - ・ ミズナラ 68 本、イヌエンジュ 52 本、クリーンラーチ 62 本

## (2) 活力に満ちた産業の育成と働きがいのある労働環境の充実

### 【地域資源を活かした高付加価値化の推進】

〈151 ページ〉

- 物産振興対策事業
  - ・ 稚内産品の知名度向上と販路拡大を図るため、道内外物産展に参加した。  
北海道の物産と観光展（宮崎県宮崎市）  
「さっぽろオータムフェスト 2022(札幌市)」、北海道フェア in 代々木(東京都渋谷区)
- 稚内ブランド推進事業
  - ・ 「稚内ブランド推進協議会」への支援を行った。  
稚内ブランド総認定数:原材料 7 品、加工品 26 品、地域資源 4 点

## 【先端技術の導入とワークライフバランスの充実によるイノベーションの創出】

〈151 ページ〉

### ○ 中小企業振興事業

- ・ 稚内市中小企業振興基本条例で定める基本理念・基本方針に基づき、令和2年度から中小企業振興助成金の見直しを実施し、助成金を交付することにより中小企業の支援を行った。

助成金の名称		令和3年度		令和4年度	
		事業者数等	交付額	事業者数等	交付額
販路拡大支援事業助成金		7社	1,546,525円	8社	1,488,223円
内 訳	特定展示会等出展事業	1社	209,465円	4社	506,657円
	新商品開発等事業	5社	1,037,060円	1社	300,000円
	ホームページ制作事業	1社	300,000円	3社	681,566円
新規創業者支援事業助成金		6人	2,587,193円	10人	4,006,228円
商店街空き店舗活用事業助成金		2人	608,989円	1人	740,000円
IoT等導入促進支援事業助成金		1社	300,000円	2社	600,000円
人材確保等支援事業助成金		5社(14人)	397,040円	10社(11人)	258,736円
商店街活性化事業助成金		1商店街	500,000円	2商店街	1,000,000円

## 【地元企業と創る活力ある産業の育成】

〈141・151 ページ〉

### ○ 総合勤労者会館管理運営事業

- ・ 総合勤労者会館、勤労青少年体育センターの利用状況  
〔利用実績〕

区分	令和3年度	令和4年度
稚内市総合勤労者会館	16,313人	20,747人
稚内市勤労青少年体育センター	7,097人	7,553人

〔サークル活動〕

区分	令和3年度	令和4年度
勤労青少年ホーム	4サークル	2サークル
働く婦人の家	71サークル	68サークル

○ 高等学校卒業生就職支援事業

実施事業	事業内容	参加者数	
		令和3年度	令和4年度
インターンシップ支援事業	在学中に望ましい勤労観や職業観を育成するための就業体験の支援を行った。	276人	264人
就職意識形成セミナー	企業人を講師に就職や働くことの意義などを生徒に理解させ、自ら考えさせるためのセミナーを開催した。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
合同企業説明会	地元求人企業の情報を提供し、企業に対する理解を深め、地元就職の促進を図った。	59人 (参加企業25社)	47人 (参加企業36社)

○ 地元就職率向上・Uターン意識向上事業

- ・ 人口減少や有効求人倍率の全国的な上昇に伴う近年の労働者不足を鑑み、地元の中学生を対象に、より早いうちから地域の産業を知ってもらうとともに、将来的な就職の選択肢としての地域企業のPRを行い、より充実したインターンシップ、進学後の地元就職、Uターンの促進による将来的な労働力確保に繋げることを目的に地元企業PRフェアを開催した。

開催日等 令和4年11月8日(火) 稚内市総合体育館

タイトル わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア2022

参加者数 中学生 195人(稚内中学校25人・稚内南中学校60人・稚内東中学校50人・潮見が丘中学校46人・宗谷中学校11人・天北中学校3人)

企業 44社

主催 稚内商工会議所青年部・稚内市・稚内市教育委員会・稚内で働こう応援会議

○ 制度資金支援事業

- ・ 稚内市中小企業特別融資貸付

厳しい経営状況の中、中小企業のニーズに応えるため、低利の融資を斡旋し、保証協会の保証料を助成する中小企業特別融資を実施した。

	令和3年度		令和4年度	
	件数	実績額	件数	実績額
融資実績	147件	1,225,319,000円	144件	1,177,155,000円
保証料補給実績	158件	17,125,832円	159件	19,324,780円

### (3) 資源から魅力への変換と世界からの交流人口の拡大

#### 【広域による新たな体制づくりと観光客の誘致促進】

〈153・187 ページ〉

○ 広域観光振興事業

〔共同で実施した事業〕

- ・ 観光案内業務(稚内空港) 【実施主体 宗谷観光連盟】
- ・ 旅行商品造成を目的とした旅行会社等の招請 【実施主体 北海道観光振興機構】
- ・ 道北サイクリングルートWEB マップの制作及び情報発信 【実施主体 あさひかわ観光誘致宣伝協議会】
- ・ 来訪者アンケート調査(稚内・利尻島・礼文島) 【実施主体 きた・北海道 DMO】  
アンケートサンプル数:4,363 件(上期(6～9 月):3,737 件、下期(10～3 月):626 件)
- ・ 住民満足度調査(稚内・利尻島・礼文島) 【実施主体 きた・北海道 DMO】  
アンケートサンプル数:424 件(稚内市:223 件、礼文町、83 件、利尻町 82 件、利尻富士町 36 件)
- ・ 稚内、利尻島、礼文島内の観光消費を最大化させるため WEB サイト構築 【実施主体 きた・北海道 DMO】
- ・ ポスト・サミット・アドベンチャー開催に向けた運営計画等の策定 【実施主体 ATWS 北海道実行委員会】

○ 合宿誘致推進事業費補助事業

令和3年度			令和4年度			種目内訳
種目数	団体数	延べ人数	種目数	団体数	延べ人数	
5 種目	18 団体	1,092 人	5 種目	31 団体	2,288 人	バレーボール、硬式野球、カーリング、スノーボード、バスケットボール

#### 【魅力ある観光資源への変換と魅力の発信】

〈151・153 ページ〉

○ 観光振興事業

- ・ 観光客動態調査

調査箇所 ノシャップ岬・宗谷岬・稚内公園

アンケートサンプル数 3,185 人

- ・ 観光入込客状況

	令和3年度	令和4年度
観光入込客数	293,000 人	448,600 人
宿泊客数	207,700 人	260,100 人
宿泊客延べ数	274,400 人泊	333,300 人泊
訪日外国人宿泊客延べ数	543 人泊	1,614 人泊

- ・ 地域おこし協力隊

内容 稚内観光協会での案内業務

体験コンテンツの造成及び実施(ホタテ貝殻絵付け体験、ウニ風鈴づくり体験)

台湾向け SNS における情報発信

台湾向け Web 広告における情報発信内容の制作

- 誘致宣伝事業

- ・ 印刷物等の製作、各メディア等における広告・宣伝

	印刷物等の製作	各メディア等における広告・宣伝
実施内容	観光ガイドブック 50,000 部	○旅行雑誌「じゃらんで旅する♪北海道」 ○台湾人向け訪日観光サイト「ラーチャーゴー」 ○タイ旅行博パンフレット「D.I.Y.HOKKAIDO」 ○市ホームページ及び SNS (Facebook、Instagram) による情報発信

- 観光活性化促進事業

- ・ 観光客誘致促進事業補助金

事業主体 わっかない観光活性化促進協議会

主な事業内容 ・既存航空路線とタイアップした旅行会社の商品造成販促、WEB を活用した広告宣伝、国内プロモーションの実施など

・早稲田大学地域連携ワークショップの実施

・各イベントの実施

イベント名	来場者・参加者数	
	令和3年度	令和4年度
宗谷ふれあい公園スノーランド	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	1,864 人
大沼バーニャビレッジ	16 人(テスト開催)	94 人(テスト開催)
初日の出 in てっぺん	800 人	1,710 人
旧瀬戸邸冬季開館	2,115 人	1,218 人
ONSEN ガストロノミーウォーキング	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	95 人

- 観光施設等管理運営事業

事業名	来場者数	
	令和3年度	令和4年度
浜勇知展望休憩施設管理運営事業	4,544 人	9,255 人
大沼野鳥観察館管理運営事業	5,715 人	4,636 人
宗谷丘陵展望休憩施設管理運営事業	4,289 人	9,299 人
北の桜守資料展示施設管理運営事業	1,849 人	3,009 人
港ギャラリー管理運営事業	17,007 人	75,320 人
港のゆ管理運営事業	-	(10/28～) 44,118 人

○ 各イベント開催補助事業

事業名	来場者数等	
	令和3年度	令和4年度
稚内みなと南極まつり	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
わっかない氷雪の広場	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	9,000人
全国犬ぞり稚内大会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	6,500人

**【クルーズ船誘致と受入体制の構築】**

〈163 ページ〉

○ 稚内港活性化事業

- ・クルーズ客船誘致のため、稚内市及び市内関係者とともに国内外船社6社及び旅行会社1社に対し、ポートセールスを実施した。
- ・クルーズ船「ばしふいつくびいなす」の稚内港寄港に伴い、歓迎セレモニーを実施した。  
ばしふいつくびいなす:寄港日 令和4年7月8日(金)

**(4) 地域特性を最大限に活かした産業の育成と企業誘致**

**【エネルギー産業の創出】**

〈135 ページ〉

○ 環境基本計画推進事業

- ・稚内市環境審議会の開催  
日時 令和4年10月25日(火)  
議題 稚内市環境基本計画年次報告について  
稚内市地球温暖化対策実行計画実施状況について

- ・第3次稚内市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進

計画期間 令和3年度～令和12年度

計画目標 二酸化炭素排出量を令和12年度で基準年度(平成25年度)比40%削減を目指す。

各課に配置している地球温暖化防止推進員が点検シートを報告

	平成25年度(基準年度)	令和3年度	令和4年度
CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	20,169	18,009	16,710
削減率(基準年度比)	—	10.7%	17.2%

- 第2次稚内市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進

計画期間 令和3年度～令和12年度

計画目標 二酸化炭素排出量を、令和12年度で基準年度(平成25年度)比26%以上削減を目指す。

稚内市における二酸化炭素排出量(環境省公表値)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )		420,608	417,572	377,776
前計画	削減率(基準年度比) [基準:H2年度 608,973 t-CO <sub>2</sub> ] 目標削減率: 25%	30.9%	31.4%	38.0%
現計画	削減率(基準年度比) [基準:H25年度 467,444 t-CO <sub>2</sub> ] 目標削減率: 26%以上	10.0%	10.7%	19.2%

## 【サハリンをはじめとする海外との経済交流の促進】

〈153・155 ページ〉

- 日ロ友好会館運営事業

[利用状況]

	令和3年度	令和4年度
日本人利用者数	732人	660人
ロシア人利用者数	164人	480人
合計	896人	1,140人
会議室有料使用	48件	71件

- 稚内日ロ経済交流協会事業費補助事業

- ・ 通訳・翻訳の提供、サハリン情報紙の発行等を行う稚内日ロ経済交流協会への補助金

- サハリン事務所管理運営事業

職員数(市職員) 1人

(ウクライナ情勢等の影響により渡航できず、現地スタッフと連絡を取りながら運営)

- ・ サハリンプロジェクト関連情報の収集
- ・ 地元企業に対する経済交流の支援
- ・ 各関係団体に対する交流の支援
- ・ 各種情報の収集・発信

# 互いに支え、いきいきと生活できる“暮らしづくり”

## (1) 地域医療の充実と健康づくりの推進

### 【市立病院の医療従事者の確保と関係機関との連携】

〈135 ページ〉

- 市立稚内病院の運営及び整備
  - ・ 医師及び医療技術職員の確保対策
  - ・ 医療機器の整備(注射薬自動払出システム、内視鏡システム、経皮的心肺補助システム、セントラルモニタシステム 等)
  - ・ 本館施設整備(空調設備改修工事、高圧受電設備改修工事、病棟外冷房設備設置工事 等)
- 市立稚内こまどり病院の運営
  - ・ 療養型病床(45床)を令和4年4月から休床した。

### 【診療所誘致の推進と地域で医療を守る取組】

〈131 ページ〉

- 地域医療対策推進事業
  - ・ 地域医療を考える稚内市民会議  
市立稚内病院をはじめ、本市の病院及び診療所を市民が協力しながら支えることにより、地域医療の充実を図り、誰もが安心して住み続けられる地域を目指し、地域ぐるみの事業を実施した。  
構成団体:25 団体  
〔医療市民会議〕 実施日 令和4年11月28日  
〔稚内の医療を考える市民の集い〕 新型コロナウイルス感染症の影響により中止  
〔夢は医者☆未来を拓く講演会〕 新型コロナウイルス感染症の影響により中止  
〔旗波運動〕 実施期間 令和4年11月1日～11月30日
  - ・ 医療と健康のまちづくり応援団による取り組み  
地域医療について関心を持ち、市民一人ひとりが健康で暮らし続けられるように、「病院」・「健康」・「未来」・「医師誘致」の4つの課題別応援団から構成される「医療と健康のまちづくり応援団」によって、地域医療環境の充実のため医師らに対する感謝の気持ちを伝える活動など様々な運動を展開した。
  - ・ 救急医療確保対策等について  
脳卒中における救急告示医療機関として休日または夜間において救急医療を担う医療機関に対して、運営に要する経費及び施設改修、機器更新に要する経費の一部を補助し、救急体制及び病院の医療体制の維持を図った。  
救急医療確保対策補助金 20,000,000 円  
公的病院等施設整備費補助金 44,230,725 円  
交付先: 社会医療法人禎心会 稚内禎心会病院

## ○ 健康増進センター管理運営事業

令和2年1月13日(月)	開館7,776日	入館者数510万人達成
令和2年10月14日(水)	開館7,982日	入館者数520万人達成
令和3年6月8日(火)	開館8,207日	入館者数530万人達成
令和4年1月15日(土)	開館8,417日	入館者数540万人達成
令和4年8月23日(火)	開館8,627日	入館者数550万人達成

〔利用状況〕

	令和3年度	令和4年度	開館からの累計
開館日数	347日	346日	8,835日
入館者数	155,359人	157,674人	5,583,308人
うち観光客	14,559人	18,541人	553,771人
うち外国人	108人	249人	37,025人
月平均利用者数	12,947人	13,140人	18,069人
日平均利用者数	448人	456人	632人

## ○ 特定疾患患者援護事業

- ・ 特定疾患患者について、稚内市以外の専門医療機関への治療通院に要した費用(交通費及び宿泊費)の一部助成を行った。

実績 65人(314件) (昨年度63人(292件))

## ○ 予防接種対策事業、エキノコックス症対策事業

事業内容		区分	令和3年度	令和4年度
予 防 接 種	四種混合	接種者数	670人	650人
	二種混合(ジフテリア・破傷風)	接種者数	208人	190人
	不活化ポリオ(小児マヒ)	接種者数	0人	0人
	BCG	接種者数	170人	169人
	麻しん・風しん混合(MR)ワクチン1・2期	接種者数	361人	369人
	水痘	接種者数	341人	290人
	子宮頸がん予防ワクチン接種	接種者数	51人	259人
	ヒブワクチン接種	接種者数	696人	630人
	小児用肺炎球菌ワクチン接種	接種者数	691人	630人
	日本脳炎	接種者数	617人	699人
	B型肝炎	接種者数	509人	475人
	ロタウイルス	接種者数	335人	304人
	高齢者等インフルエンザ予防接種	助成者数	5,836人	6,734人
	肺炎球菌ワクチン接種	助成者数	267人	218人
	エキノコックス症血液検査	受診者数	281人	638人

○ 歯の健康推進事業

歯と口の健康フェスティバル:新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○ 健康教育事業、健康相談支援事業

事業内容	区分	令和3年度	令和4年度
健康教育事業	実施回数	42回	47回
	受講者数	1,430人	1,418人
健康相談支援事業	実施回数	24回	26回
	実施人数	178人	102人
訪問指導	実施人数	43人	40人

○ がん検診事業、健康診査事業

事業内容	受診者数	
	令和3年度	令和4年度
胃がん検診	899人	924人
子宮がん検診	539人	601人
超音波検査	543人	611人
乳がん検診	703人	813人
肺がん検診	1,553人	1,620人
喀痰検査	24人	42人
大腸がん検診	1,498人	1,522人
前立腺がん検診	631人	702人
骨粗鬆症検診	580人	563人
肝炎ウイルス検診	278人	276人

・ 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業

一定年齢に到達した対象者に対し、無料で検診を受けられるクーポンを発行して受診を促した。

子宮がん検診8人、乳がん検診65人

○ ピロリ菌除菌事業

・ 中学2、3年生を対象に、ピロリ菌の検査及び、ピロリ菌陽性者で希望する者に対し、除菌治療を実施した。

ピロリ菌検査 延べ149人、除菌治療4人

○ 国民健康保険事業

事業名	件数等	
	令和3年度	令和4年度
特定健康診査	1,154 件（受診率 21.7%）	882 件（受診率 17.4%）
特定保健指導	106 件	87 件
人間ドック検診助成	85 件	100 件
がん検診等助成	3,813 人	3,968 人
インフルエンザ予防接種助成	1,455 件	1,659 件
肺炎球菌予防種助成	94 件	64 件

**【食育の推進】**

〈169 ページ〉

○ 食育推進事業

- ・「食育月間」の取組について

開催日	令和4年6月2日(木)～令和4年6月14日(火)
場所	稚内市立図書館
内容	「食」に関する掲示物、食物サンプルの展示による病気の予防や免疫力の維持など健康に過ごすための食事について啓発

**(2) 地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進**

**【障がい者福祉の推進】**

〈119・121 ページ〉

○ 重度心身障害者医療費助成事業

		対象者数	助成件数	
			入院	その他
令和3年度	65歳未満	288 人	287 件	6,290 件
	65歳以上	492 人	792 件	7,769 件
令和4年度	65歳未満	284 人	274 件	5,784 件
	65歳以上	466 人	739 件	8,087 件

○ 特別障害者手当等給付事業

区分	令和3年度	令和4年度
特別障害者手当	295 人	281 人
障害児福祉手当	108 人	112 人

○ 福祉灯油支給事業

- ・低所得の障がい者、ひとり親世帯等に対して灯油の購入費の一部を助成した。（288 世帯）

○ 障害者自立支援給付等事業

区 分		延べ利用者数	備 考
介護給付費	在宅訪問系	531人	障害福祉サービス受給者証交付 388人(年度末) 〔 障害支援区分調査 114人 介護給付費等支給審査 114人〕
	在宅通所系	2,626人	
	施設入所・入居	838人	
	計 画 相 談	476人	
訓練等給付費	自立・就労支援	1,989人	児童通所サービス受給者証交付 120人(年度末)
	共同生活援助	1,261人	
自立支援医療費	更生医療	(18歳以上)	1,767人
	育成医療	(18歳未満)	7人
補装具給付費		70人	

○ 各種在地域生活支援事業

区 分(主なもの)	延べ利用者数	備 考
日常生活用具	304人	ストマ、紙おむつ等 1,297月給付
コミュニケーション支援	25人	奉仕員(手話・要約筆記)派遣
地域活動支援	3,786人	障害者地域活動支援センター1か所
相談支援	560人	障害者相談支援事業所2か所
身体障害者福祉タクシー	703人	

**【高齢者福祉の推進】**

〈121・123・251・257・259 ページ〉

○ 高齢者社会・生きがいづくり

事業名		区 分	令和3年度	令和4年度	
◆ 敬老祝品及び敬老祝金支給事業	敬老祝品	支給人数	554人	546人	
	敬老祝金	支給人数	77歳	397人	336人
			88歳	193人	263人
			100歳	17人	7人
◆ 高齢者社会参加活動事業	バス乗車支援事業	対象者数	8,385人	9,075人	
	JR乗車支援事業 (抜海・勇知地区)	対象者数	45人	40人	
◆ 高齢者入浴支援事業		対象者数	10,992人	10,997人	
		延べ利用人数	27,936人	25,696人	
◆ 老人福祉センター管理運営事業		利用登録者	287人	282人	
		延べ利用者	2,863人	3,332人	

○ 各種在宅介護支援事業の利用状況

事業名	区分	令和3年度	令和4年度
◆外出支援事業 (一般の交通機関の利用が困難な高齢者の移動手段として、特殊仕様の車両により外出活動を支援)	利用登録者数	84人	89人
	延べ利用回数	929回	868回
◆緊急通報装置給付運営事業 (日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置して、急病などの緊急時に対応)	設置台数	13台	9台
◆簡易型緊急通報装置給付運営事業 (一人暮らしの高齢者又は虚弱な高齢者のみの二人世帯を対象に、簡易型の緊急通報装置を設置して、緊急時に対応)	設置台数	90台	75台
◆訪問理美容サービス事業 (障がいなどのため理美容院に向くことが困難な方の居宅において、理美容師が訪問のうえサービスを実施)	延べ利用人数	0人	0人
◆重度要介護者居宅サービス利用支援事業 (要介護4又は5の方を在宅で介護している低所得者の方に対する支援)	利用登録者数	34人	49人
◆介護保険サービス利用者負担軽減事業費補助事業 (要介護被保険者等のうち、低所得で特に生計が困難である方を対象にサービス利用に係る負担額を一部軽減)	利用登録者数	60人	65人
◆家族介護用品支給事業 (要介護4又は5の低所得者に対してオムツなどを購入できるクーポン券を交付)	申請登録者	29人	29人
	延べ支給件数	400件	264件
◆配食サービス事業 (一人暮らしなどの理由で、調理が困難な高齢者世帯に配食と安否の確認を行う)	延べ利用人数	309人	338人
	延べ利用食数	3,404食	3,490食
◆命のバトン事業 (65歳以上の一人暮らし又は65歳以上のみの2人世帯に、救急時に必要な情報を保管する専用のキットを配布する)	配布数	70人	64人

○ 各活動への支援

事業名	区分	令和3年度	令和4年度
稚内市老人クラブ連合会運営費補助事業	クラブ数	42ヶ	41ヶ
	会員数	1,286人	1,160人
稚内市老人クラブ交付金	助成町内会	64町	65町
長寿ふれあい交流事業費補助事業	助成対象者数	8,694人	8,912人

○ 後期高齢者医療事業

- ・ 各種申請の受付・相談及び保険料の徴収を行った。

被保険者数 75歳未満 148人  
75歳以上 5,497人

○ 介護人材確保推進事業 ※新規

・ 介護職員初任者研修実施業務

市内介護サービス事業所で働く介護職員を確保するため、稚内市内での資格取得が難しい初任者研修を開催した。

令和4年度:受講生14人(資格取得14人)

・ 外国人介護人材育成支援事業

外国人介護福祉人材育成支援協議会(事務局:東川町)に正会員として加入し、市内施設で就労することを希望する外国人留学生1人に対し、生活費や学習活動を奨励する奨学金を給付した。

○ 介護認定審査会事務

・ 宗谷北部介護認定審査会の開催(52回開催)

・ 稚内市分認定件数1,585件(実人数1,857人 ※令和5年3月末 要介護認定者数)

○ 介護認定調査事務

・ 介護認定調査数1,571件(市直営調査1,416件、委託調査155件、直営率90.1%)

○ 短期集中予防サービス事業(通所型、訪問型)

事業名	区分	令和3年度	令和4年度
運動器の機能向上事業	実施回数	32回	46回
	参加者数	92人	288人
栄養改善事業	実施回数	0回	3回
	参加者数	0人	3人
口腔機能向上事業	実施回数	13回	14回
	参加者数	13人	14人

○ 地域介護予防活動支援事業

事業名	区分	令和3年度	令和4年度
◆介護予防サポーター等養成(育成)	実施回数	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	3回
	養成等数		46人
◆地域での介護予防教室・通いの場 (月1回以上活動している通いの場箇所数)	開催箇所数	13箇所	42箇所
	参加延人数	142人	364人

○ 介護予防普及啓発事業

事業名	区分	令和3年度	令和4年度
普及・啓発など ◆認知症予防教室(脳の健康教室) ◆いきいき栄養教室 ◆健康運動教室 ◆介護予防教室	実施回数	43回	26回
	延べ受講人数	1,846人	1,747人
相談事業 ◆高齢者健康相談事業	実施回数	45回	48回
	延べ参加人数	299人	388人
その他 ◆介護予防手帳の交付	交付者数	21人	39人

○ 地域リハビリテーション活動支援事業

事業名	区分	令和3年度	令和4年度
地域リハビリテーション活動支援事業	実施回数	2回	4回
	延べ参加人数	2人	4人

○ 地域包括支援センターの運営

- ・ 保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士等の専門職を配置して、高齢者が地域で安心して生活していくための地域包括ケア体制づくりに向けて、保健福祉の総合的な相談、虐待防止、要介護状態への移行を防止するための介護予防に関する事業などを実施した。また、社会保障充実分として包括的支援事業に位置づけられている、認知症総合支援事業、在宅医療・介護連携推進事業等を実施した。

[活動状況]

事業名	区分	令和3年度	令和4年度
◆総合相談支援事業 (在宅介護支援センター委託分含む)	延べ対応人数	5,390人	5,787人
◆地域ケア支援事業 (地域ケア会議研修会、個別ケース会議等の開催)	開催回数	21回	20回
◆権利擁護事業(高齢者虐待、成年後見制度など)	延べ対応人数	554人	674人
◆成年後見制度利用支援事業	市長申立件数	3件	0件

○ 認知症総合支援事業

- ・ 認知症初期集中支援推進事業として、認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応に向けた支援を行った。また、地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員の活動の一環として、オレンジカフェ(認知症カフェ)開催の支援や「わからない認知症の方を支える家族の会『ほっとする会』」の運営に関する後方支援を行った。

		令和3年度	令和4年度
初期集中支援	支援数	7人	7人
	支援終了	4人	6人
	継続支援	3人	1人
	チーム員会議開催回数	4回	6回

		令和3年度	令和4年度
カフェ	開催数	7回	8回
	参加者数	82人	87人
家族会	開催数	4回	6回
	参加者数	39人	51人
ケア向上	開催数	0回	0回
	参加者数	0人	0人

※新型コロナウイルス感染症の影響により事業の一部を中止

○ 生活支援体制整備事業

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により活動が縮小される中、生活支援コーディネーターが町内会や老人クラブ活動に参加することによって繋がりを強化するとともに、地域資源や支援ニーズの把握に努めた。また、昨年度から引き続き、支え合い活動の場として「おさいほうクラブ」「パソコン教室」を開設した。

○ 在宅医療・介護連携推進事業

- ・市内の医療・介護の関係機関・関係団体などと協力して、在宅医療・介護の連携を推進するため、以下の活動を実施した。

[令和4年度事業実績]

1. 課題抽出・対応策検討のための会議開催

- ・在宅医療・介護連携推進検討会(てっぺんの会)開催5回

2. 地域の医療・介護の資源把握 及び 関係者間の情報共有の支援

- ・てっぺんの会入退院等支援ワーキングチームが、専門職向けの情報共有のための通信紙の発行や訪問服薬指導サービスのフローチャートの配布を実施した。

3. 医療・介護関係者の連携推進

- ・多職種研修会開催 0回(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

4. 住民への普及啓発

- ・地元スーパーや介護の日に合わせて図書館で在宅医療や介護に関するパネル展示や、啓発DVDの上映を実施。併せて在宅療養パンフレット「これまでもこれからも」及び相談先のチラシを配布。

5. 在宅医療・介護連携相談窓口設置

- ・医療や介護の従事者からの在宅医療と介護連携に関する相談や、市民からの在宅療養に関する相談に対する窓口を設置。

		令和3年度	令和4年度
相談件数		26件	18件
相談元	医療	16件	12件
	介護	2件	1件
	家族等	8件	5件

6. 管内市町村連携の推進

- ・管内市町村の広域連携意見交換会 0回(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

7. 歯科医療・介護連携

- ・口腔チェックリストを保健所と共同で作成し、実用化に向けた検証を行った。

○ 認知症サポーター等養成事業

事業名	令和3年度	令和4年度
認知症サポーター養成講座	206人 (累計4,515人)	179人 (累計4,694人)
認知症サポーター ステップアップ養成講座	26人 (累計110人)	17人 (累計127人)

○ 認知症高齢者等見守り・SOS ネットワーク事業

- ・平成30年度から事前登録制の運用を導入し、行方不明になった認知症高齢者等を早期発見・保護及び行方不明を予防するための地域の見守り体制の構築を行っている。また、行方不明者の発生を想定し、一斉送信の模擬訓練を行った。

	令和3年度	令和4年度
ネットワーク推進会議開催	1回	1回
年度末登録件数	40件	45件
事前登録件数	51件	68件
新規登録件数	25件	28件
継続登録件数	26件	40件
年度内廃止件数	11件	23件
ネットワーク稼働回数	2回	1回
模擬訓練実施回数	1回	1回

○ 介護予防ケアマネジメント

事業名	令和3年度	令和4年度
介護予防支援事業 (要支援者の介護予防プラン報酬請求件数)	1,573件	1,655件
介護予防ケアマネジメント (要支援者及び事業対象者の介護予防プラン報酬請求件数)	2,426件	2,484件

**【生活困窮者への支援強化】**

〈121・129 ページ〉

○ 生活保護扶助事務

区分	令和3年度	令和4年度
被保護世帯数	589世帯	579世帯
被保護人員数	724人	712人
保護率	22.7%	22.7%
面接相談件数	147件	104件

○ 生活困窮者自立支援事業

- ・ 令和 2 年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、相談・申請件数が大幅に増加したが、経済活動に対する制限の緩和とともに減少した。
- ・ 必須事業の自立相談支援事業、住居確保給付金のほか、任意事業として家計改善支援事業、就労準備支援事業を実施した。

事業名		令和 3 年度	令和 4 年度
自立相談支援事業	相談件数	185 件	57 件
	支援件数	110 件	23 件
家計改善支援事業	相談件数	1 件	2 件
	支援件数	1 件	2 件
就労準備支援事業		9 件	13 件
住居確保給付金		2 件	1 件

**【誰もが参加・参画できる社会の推進】**

〈119・123 ページ〉

○ 稚内市社会福祉協議会運営費補助事業

- ・ 交付先 稚内市社会福祉協議会
- ・ 主な事業内容 福祉団体の事務局業務  
社会福祉事業(共同募金助成事業、生活福祉資金等貸付事業、愛情銀行事業 等)  
公益事業(生活困窮者自立支援事業 等)

○ 民生児童委員活動支援事業

- ・ 各民生委員、児童委員が行った相談・支援の年間延べ件数  
〔活動状況〕

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
	相談・支援件数	活動日数(延べ)	相談・支援件数	活動日数(延べ)
民生委員(児童委員)108 人	6,211 件	10,362 日	6,166 件	10,895 日
主任児童委員 12 人	171 件	746 日	50 件	629 日
合 計	6,382 件	11,108 日	6,216 件	11,524 日

○ 稚内市遺族会運営費補助事業

- ・ 交付先 稚内市遺族会
- ・ 主な事業内容 稚内市遺族会戦没者忠霊碑供養法要の開催  
北海道護国神社例大祭の遺族参拝  
稚内市戦没者追悼式の参加 等

- 稚内市社会を明るくする運動推進委員会運営費補助事業
  - ・ 交付先 稚内市社会を明るくする運動推進委員会
  - ・ 主な事業内容 街頭啓発活動(北門神社例大祭)  
市内高校卒業生等へのメッセージと記念品の贈呈
- 声問ノーマライゼーション推進委員会運営費補助事業
  - ・ 交付先 声問ノーマライゼーション推進委員会
  - ・ 主な事業内容 道道の花壇整備  
声問小学校と稚内養護学校の交流
- ひきこもりサポート事業
  - ・ ひきこもり相談窓口の設置 相談実人数 11 人、相談件数 19 件
  - ・ 地域で支えるひきこもり講演会の開催 参加人数 62 人
- 総合福祉センター管理運営事業
  - ・ 利用者数 15,747 人 (昨年度 14,166 人)

### (3) 人と地球にやさしいまちづくり

#### 【低炭素社会の実現】

〈105 ページ〉

- 太陽光発電施設維持管理事業
  - ・ 次世代エネルギーパーク拠点施設として、稚内メガソーラー発電所で発電した電力を、隣接する大沼球場と道立宗谷ふれあい公園へ供給し、再生可能エネルギーの利活用を図った。
- 新・省エネルギー推進事業
  - ・ 風力発電のための送電網整備事業  
「風力発電のための送電網整備実証事業」は、送電網整備をはじめ蓄電池システムや変電所の工事を終え、令和5年5月供用を開始した。

実施事業者	送電網整備エリア	蓄電池システム	総事業費
北海道北部風力送電(株)	稚内～中川町(総距離 77.8km)	240MW/720MWh	約 1,050 億円

- ・ 風力発電事業

稚内市における風力発電事業の環境アセス状況は下記表のとおり(R5.3.31 現在)

事業名	手続き状況	縦覧期間	備考
川南風力発電事業	評価書終了	R1.9.25(水)～R1.10.24(木)	R5.5 操業開始
(仮称)川西風力発電事業	評価書終了	R1.9.25(水)～R1.10.24(木)	
(仮称)樺岡風力発電事業	評価書終了	R2.2.18(火)～R2.3.17(火)	

事業名	手続き状況	縦覧期間	備考
(仮称)勇知風力発電事業	評価書終了	R2.2.18(火)～R2.3.17(火)	
上勇知ウインドファーム事業	評価書終了	R2.3.31(火)～R2.4.30(木)	R5.4 操業開始
(仮称)増幌風力発電事業	準備書終了	H28.4.1(金)～H28.5.2(月)	
(仮称)宗谷丘陵風力発電事業	準備書終了	R4.7.15(金)～R4.8.31(水)	
(仮称)新さらきとまない風力発電事業	評価書終了	R3.6.30(水)～R3.7.29(木)	
(仮称)北海道(道北地区)ウインドファーム稚内	方法書終了	H29.4.27(木)～H29.5.31(水)	
(仮称)宗谷岬風力発電事業更新計画	準備書終了	R2.9.29(火)～R2.10.28(水)	
(仮称)宗谷管内風力発電事業	配慮書終了	R4.2.17(木)～R4.3.22(火)	
(仮称)抜海・豊田風力発電事業	配慮書終了	R4.2.17(木)～R4.3.22(火)	

○ 再生可能エネルギー推進事業 ※新規

・電力自己託送の実施

稚内市水道事業風力発電所で発電したクリーンな電力を活用した公共施設への自己託送の仕組みを構築し、令和4年3月から本格運用を開始した。

[令和4年度(R4.4～R5.3)実績]

発電電力量 1,302,380kWh 自己託送電力量 677,830kWh

[自己託送施設(19 施設)]

市立稚内病院、総合文化センター、下水終末処理場、温水プール水夢館、健康増進センター童夢、稚内市役所、総合体育館、こまどりスキー場、市立図書館、市立稚内こまどり病院、潮見が丘小学校、稚内中央小学校、潮見が丘中学校、稚内南中学校、少年自然の家、青少年科学館(水族館)、稚内東中学校、稚内南小学校、みどりスポーツパーク

○ゼロカーボン推進事業 ※新規

・地域脱炭素計画策定業務委託料

目的	脱炭素に関する情報収集・分析、市内の温室効果ガスの現状・将来推計、脱炭素まちづくりの将来ビジョン、再エネ導入目標、脱炭素シナリオ等についての検討結果に対する意見聴取
期間	令和4年度
内容	上記目的に係る調査・検討を行い、地元大学、電力事業者、再エネ発電事業者、商工会議所、金融機関から選出された委員で構成する「稚内市における再エネの最大限の導入のための検討委員会」を設置し、審議を行った。 <<第1回>> 日時 令和4年7月29日(金) 内容 検討委員会設立の目的について、脱炭素に向けた今後の取組について <<第2回>> 日時 令和4年8月31日(水) 内容 本市の地域脱炭素に向けた検討の結果について、検討結果を踏まえた今後の取組について

## 【豊かな自然環境の保全】

〈135 ページ〉

- 公害防止対策事業
  - ・ 自動車の道路交通騒音測定を2箇所を実施し、公害監視を行った。  
地域住民の生活環境を著しく損なう騒音は確認されなかった。
- 不法投棄防止対策事業
  - ・ 不法投棄防止対策として、監視員2人を雇用し、稚内市管内一円パトロールを実施  
廃タイヤ・廃家電製品・家具類等0.5tを回収（昨年度0.6t回収）
  - ・ 不法投棄防止啓発看板の設置
  - ・ 清掃活動「クリーンアップわっかない」の推進  
町内会クリーン作戦（各町内会一斉）春・秋:30町内会1,015人

## 【循環型社会の実現】

〈137 ページ〉

- 一般廃棄物収集事業
  - ・ 一般廃棄物の収集量 8,332t（昨年度 8,525t）  
（家庭系収集ごみ:5,265t、大型収集ごみ:24t、資源物収集:3,043t）

〔廃棄物処分場埋立て状況〕

	令和3年度	令和4年度
一般廃棄物	11,609 t	11,591 t
うち家庭系	5,223 t	5,173 t
うち事業系	4,990 t	4,444 t
その他一般廃棄物	1,396 t	1,974 t
産業廃棄物(合せ処理分)	1,441 t	1,752 t
埋立て処理合計	13,050 t	13,343 t

- 生ごみ中間処理施設管理運営事業
  - ・ 稚内市バイオエネルギーセンター(生ごみ中間処理施設)において、生ごみ等の中間処理により、ごみの減容化を図り、さらに処理過程で発生するバイオガス(メタンガス)のエネルギーとしての活用や、最終残渣を肥料とするなど、有効活用を図った。

〔稚内市バイオエネルギーセンター処理状況〕

	令和3年度	令和4年度
投入量	3,867 t	3,771 t
生ごみ	1,573 t	1,520 t
下水道汚泥	1,988 t	1,982 t
その他(水産残渣、紙、廃食用油)	306 t	269 t
処理不適物	371 t	373 t

	令和3年度	令和4年度
実質処理量	3,496 t	3,398 t
残渣排出量(減容率)	601 t(82.8%)	674 t(80.2%)
発生ガス量(※)	436,605N m <sup>3</sup>	425,202N m <sup>3</sup>
ガス回収率(※)	125N m <sup>3</sup> /t	125N m <sup>3</sup> /t

ガス量 50%換算値

○ ごみ減量化対策事業

- ・ ごみ総排出量 15,297t (昨年度 15,454t)
- ・ 一人一日当たりごみ排出量 1,317g/人・日 (昨年度 1,306g/人・日)
- ・ 小中学校、町内会等の資源物の集団回収の促進を目的として、資源物集団回収奨励金を交付した。  
実施団体数 9 団体(昨年度 9 団体)  
回収量 137.5t(昨年度 140.7t)

○ リサイクルセンター整備事業

年度	事業内容
令和2年度	建設工事施工監理業務委託、プラント設備工事、土地造成工事
令和3年度	建設工事施工監理業務委託、プラント設備工事、土地造成工事
令和4年度	建設工事施工監理業務委託、プラント設備工事、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事、外構工事、上下水道工事 ※令和5年3月完成

○ 分別収集事業

- ・ 資源化量 3,237t (昨年度 3,292t)  
資源物処理量:3,043t(古紙類:2,041t、ビン類:278t、缶類:79t、ペットボトル:178t、古衣類:34t、器包装プラ:320t、その他:113t)  
生ごみメタン資源化量 :194t(メタン化量:135t、堆肥化量:59t)
- ・ リサイクル率 21.2% (昨年度 21.3%)

**【住みよい生活環境の確保】**

〈135・139・159 ページ〉

○ 公衆浴場確保対策等事業費補助事業

- ・ 稚内市公衆浴場確保対策事業費補助金  
住民の保健衛生上不可欠で、将来にわたって必要とされる公衆浴場の廃業を防止し、利用の機会を確保するため、市内1浴場に対し、事業費の補助を行うのが目的であるが、令和4年度は基準入浴客数を超えていることから、稚内市公衆浴場確保対策事業費補助金交付要綱に定める補助対象施設に該当しなかった。

○ 火葬場管理運営事業

- ・ 火葬場使用実績:690 件 (昨年度:695 件)
- ・ 火葬炉改修工事

○ 墓地管理運営事業

・ 合葬墓整備工事

少子高齢化や核家族化が進むなか、お墓の維持管理や承継問題等により、悩みを抱えている市民は多く、アンケート調査結果においても市民ニーズが高いことから、稚内霊苑に合葬墓を整備した。

整備費 15,796,000 円

○ し尿処理事業、浄化槽汚泥処理事業

・ し尿及び浄化槽汚泥を下水終末処理場で下水汚泥と共同処理を行った。

し尿処理量 1,517 件 757.9kl/年 浄化槽汚泥処理量 1,249 件 3,108.2kl/年

○ 除雪対策管理事業

・ 除排雪業務委託

除雪回数 14 回

除雪延長(市内 192.5km、郡部 140.3km)

・ 融雪剤・砂散布業務委託

・ スノーポール設置、撤去業務委託(設置数 1,768 本、防雪柵 1,595m)

・ 歩道柵設置、撤去業務委託(転落防止柵 592m等)

・ ロードヒーティング維持管理業務委託 11 箇所

・ 上猿払清浜線除雪業務委託(北海道受託)

・ 融雪剤散布機設置、撤去業務委託 2 箇所

## (4) 安全・安心な暮らしづくり

### 【消費者教育及び消費者被害防止活動の推進】

〈101 ページ〉

○ 消費生活安定事業

・ 消費者被害未然防止のための啓発活動(消費生活パネル展等)

・ 連絡会ニュースの発行(年 4 回)

○ 消費者センター運営事業

・ 消費生活相談業務の広域対応 管内相談件数 172 件、うち稚内市 121 件

(昨年度 管内相談件数 164 件、うち稚内市 126 件)

○ 物価・量目調査事業

・ 物価調査 ～ 調査員:稚内市消費生活モニター 6 人

生活関連物資(47 品目)の価格調査を毎月 1 回実施

・ 量目調査 ～ 調査員:稚内市消費生活モニター 6 人

食料品(調査品目:夏 6 品目)を購入し、量目調査を年 1 回実施

※例年であれば、夏・冬の年 2 回量目調査を実施しているが、荒天により冬の量目調査は未実施。

## 【交通安全対策及び防犯対策の推進】

〈99・101・157 ページ〉

### ○ 交通安全対策事業

- ・ 一般交通安全指導員 10 人

事業内容	出勤延べ回数	
	令和3年度	令和4年度
春秋の全国交通安全運動街頭指導	108 回	96 回
その他の運動(街頭啓発、パトライト作戦等)	64 回	68 回
各種行事交通整理	6 回	17 回

- ・ 学校交通安全指導員 11 人

配置校: 稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、稚内港小学校、潮見が丘小学校 (市内5小学校)

- ・ 交通安全啓発資材(夜光反射材等)の購入

事業内容	区分	令和3年度	令和4年度
交通安全教室・講習会 (幼児～高齢者)	開催回数	9 回	10 回
	参加人数	1,300 人	1,171 人
交通安全大会	開催回数	0 回	2 回
	参加人数	0 人	116 人

- ・ 運転免許自主返納奨励品

65 歳以上の稚内市民で運転免許証を自主返納した方に対し、わからない地域商品券 2,000 円分を交付。  
交付申請件数 91 件(昨年度:112 件)、交付決定件数 91 件(昨年度:112 件)

### ○ 防犯活動推進事業

- ・ 青色防犯パトロール実施回数(市公用車) 延べ 2,040 回 (昨年度 2,282 回)

### ○ 道路橋梁維持管理事業(道路交通安全施設の整備)

- ・ 区画線整備 15.1km
- ・ カーブミラー設置 2 箇所
- ・ 停止線標識柱設置 1 箇所
- ・ 標識整備 1 箇所

## 【消防・救急体制の充実】

〈167 ページ〉

- 消防施設等の整備
  - ・ 消防庁舎高圧受電設備更新工事 ※5 期工事の 4 期目
  - ・ 消火栓 新設 1 基(下増幌 1 基)、取替 2 基(はまなす 2、大黒 5)
  - ・ 高規格救急自動車架装及び付属品一式
  - ・ 高度救命処置用資器材
  - ・ 水難救助ボート
  - ・ 水難救助ボートトレーラー
  - ・ 小型動力ポンプ付積載車(第 4 分団)

## 【鳥獣被害防止対策の強化】

〈147 ページ〉

- 鳥獣被害防止対策事業
  - ・ エゾシカ捕獲・管理(被害防止及び数の調整) 917 頭 (昨年度 871 頭)
  - ・ 市に対し捕獲の許可申請があった件数 79 件(道許可及び市許可) (昨年度 83 件)
  - ・ アライグマ捕獲 363 頭(市職員及び委託業者) (昨年度 260 頭)
  - ・ カラスの巣撤去出動回数 60 回(市職員及び委託業者) (昨年度 85 回)

# まちを愛し、世界に誇れる“ふるさとづくり”

## (1) 郷土愛の醸成・まちの魅力の発信

### 【「ふるさと稚内」のPR活動の推進】

〈99 ページ〉

#### ○ ふるさと納税推進事業

- ・ ふるさと納税制度による本市への寄附促進と、地元特産品のPRや地元産業の活性化を図るため、平成 27 年 11 月より、ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」において、お礼品の贈呈を開始した。
- ・ 更なる寄附促進と地元特産品の PR や地元産業の活性化を図るため、令和元年 11 月にふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」、同年 12 月に「ANA のふるさと納税」、令和 3 年 4 月に「ふるなび」・「ふるさとパレット」・「楽天ふるさと納税」・「JRE モール」を拡充。
- ・ 稚内に関わりを持つ人々との関係強化のために、ふるさと納税継続寄附者に対しはがきを送付した。
- ・ ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」内での広告掲載、関東圏及び関西圏への紙面広告の掲載、yahoo や google への web 広告、LINE 及びインスタグラムを開設し SNS での広告による PR を実施した。

#### 〔寄附実績〕

	令和 3 年度	令和 4 年度
寄附件数	135,116 件	115,728 件
寄附額	2,304,223,000 円	2,154,114,354 円

#### 〔使途別〕

	項 目	件 数	寄 附 額
①	教育及び少子化対策に関する事業	20,198 件	346,051,444 円
②	国内及び国際の交流に関する事業	817 件	11,461,700 円
③	福祉及び医療に関する事業	7,474 件	118,938,270 円
④	環境、新エネルギー及び省エネルギーに関する事業	4,446 件	72,728,200 円
⑤	地場産業の振興に関する事業	8,567 件	140,161,780 円
⑥	文化及びスポーツの振興に関する事業	1,566 件	25,919,200 円
⑦	その他市長が必要と認める事業	76,313 件	1,438,853,760 円
	合 計	119,381 件	2,154,114,354 円

※使途別件数については、複数項目に寄附が可能のため、寄附件数とは異なる。

○ 企業版ふるさと納税

〔寄附実績〕

事業名	件数	寄附額
放課後学力グングン塾開催事業	1件	1,000,000円
再生可能エネルギー推進事業	1件	100,000円
鳥獣被害防止対策事業	1件	1,000,000円
合計	3件	2,100,000円

(2) 国内外との交流促進とホスピタリティの向上

【まちを訪れる人の満足度向上】

〈153 ページ〉

○ 稚内観光マイスター推進事業費補助事業

	受験者数	合格者数	累計
初級	302人	257人	1,929人
中級	46人	10人	177人
上級	15人	2人	27人

【友好交流の促進による地域活性化】

〈97 ページ〉

○ 枕崎市友好都市交流事業

- ・ 友好都市締結 10 周年枕崎市民訪問団 稚内市来訪  
期 間 令和 4 年 6 月 17 日(金)～18 日(土)  
来訪者 25 人
- ・ 友好都市締結 10 周年稚内市民訪問団 枕崎市訪問  
期 間 令和 4 年 10 月 29 日(土)～11 月 1 日(火)  
参加者 38 人

○ 石垣市友好都市交流事業

- ・ 友好都市締結 35 周年石垣市民訪問団「石垣市民の翼」 稚内市来訪  
期 間 令和 4 年 10 月 23 日(日)～25 日(火)  
来訪者 33 人
- ・ 友好都市締結 35 周年稚内市民訪問団「稚内市民の翼」 石垣市訪問  
期 間 令和 4 年 11 月 4 日(金)～8 日(火)  
参加者 21 人

### (3) 移住・定住の促進と関係人口の拡大

#### 【移住・定住の促進】

〈97 ページ〉

##### ○ ちょっと暮らし移住体験推進事業

###### ・ 移住体験住宅の整備

郊外の3棟(下勇知、西浜、更喜苫内)及びウィークリーマンションの3室の体制で、移住体験者の受入れを行った。

[利用実績]

住宅名	利用者数	利用日数	延べ利用者数	期間
下 勇 知	3組4人	78日	108人	5月から10月まで
西 浜	4組7人	87日	164人	
更喜苫内	2組5人	33日	111人	
ウィークリーマンション	実績なし			通年
合 計	9組16人	198日	383人	-

#### 【若者の定着・Uターンの促進】

〈97 ページ〉

##### ○ U I Jターン新規就業支援事業

- ・ 稚内市への移住・定住の促進及び中小企業等の人手不足の解消を目的に、東京圏から稚内市に移住することを前提とし、北海道が運用するマッチングサイトを通じて登録事業者就職、あるいは稚内市で起業に至った場合に助成金を支給する。

マッチングサイトに登録し求人募集を行った事業者数:7社(令和5年3月末現在)

令和4年度助成件数:0件

# 新型コロナウイルス感染症対策事業

〈93・109・111・143 ページ〉

事業名	事業内容
<p>新型コロナウイルス感染症対策事業</p>	<p><b>【PCR検査センターの設置】</b>            感染拡大防止や医療機関の負担軽減を図るため、株式会社木下グループと協定を結び、官民協働によるPCR等検査施設として「稚内市新型コロナ検査所」を稚内市ポートサービスセンター内に設置した。</p> <p>・令和4年4月1日から令和5年3月31日までの検査件数            PCR検査 11,685 件、抗原定性検査 4,717 件、計 16,402 件</p> <p><b>【学童保育所等 Wi-Fi 環境整備】</b>            タブレット端末を活用したオンライン授業に対応できるよう、市内にある4学童保育所及び港ふれあいセンターの Wi-Fi 環境を整備した。</p> <p><b>【体育施設感染症対策】</b>            感染リスクの軽減を図るため、市内の体育施設に、二酸化炭素濃度測定器及びHEPA(高性能)フィルタ式空気清浄機を設置した。</p> <p><b>【感染拡大予防対策】</b>            感染対策の徹底を呼びかけるため、市役所に懸垂幕を掲揚するとともに、公用車に啓発マグネットシートを掲示し運行した。また公共施設をはじめ、商業施設や繁華街において感染対策に関するチラシや除菌シートを配布した。</p>
<p>観光客誘致・受入強化緊急対策事業</p>	<p>売上が減少している市内の観光関係事業者及び旅客運送事業者の事業継続を支援するため、観光客誘致・受入強化対策を実施した。</p> <p>・市内登録宿泊施設の宿泊者及び稚内空港発着便利利用者、JR利用者に対する、市内登録事業者(飲食・お土産・交通)で利用できるクーポン券の進呈及び宿泊費の助成</p> <p>・市内登録宿泊施設に宿泊するツアー客に対する、市内登録事業者(飲食・お土産・交通)で利用できるクーポン券の進呈及び宿泊費の助成</p> <p>・ANAのマイル山分けキャンペーンの実施</p> <p>・各種広告媒体による稚内観光に関する広告の出稿</p>
<p>学校保健特別対策事業</p>	<p>児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ、教育活動を着実に継続するため、市内小中学校に感染対策に必要な備品を整備するとともに消耗品を配布した。</p> <p>・自動検温器(全校)、二酸化炭素モニター、サーキュレーター(全学級)</p> <p>・加湿器、空気清浄機等(全校から聞き取り、必要な備品を整備)</p> <p>・消毒液、マスク、手袋、石鹸等(全校から聞き取り、必要な消耗品を配布)</p>

事業名	事業内容
新型コロナウイルスワクチン接種事業	<p>感染拡大及び重症化を抑制するため、市内協力医療機関での個別接種をはじめ、宗谷医師会の協力のもと、市において稚内市保健福祉センターを会場に集団接種を実施した。</p> <p>[令和5年3月末時点の接種率 全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初回接種:88.0%、3回目接種 78.5%、4回目接種 58.7%、5回目接種 34.9%</li> </ul> <p>[令和5年3月末時点の接種率 65歳以上]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初回接種:92.5%、3回目接種 92.1%、4回目接種 86.7%、5回目接種 77.3%</li> </ul> <p>※令和5年度においても継続して実施</p>
子育て世帯生活支援特別給付金事業	<p>新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、物価高騰等の影響を受ける低所得の子育て世帯を支援するため、対象児童一人あたり5万円の給付を行った。</p> <p>[ふたり親]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度住民税非課税世帯で、令和4年4月分の児童手当及び特別児童扶養手当受給者、高校生のみを養育する者、新規児童手当受給者等</li> <li>・支給実績 105世帯(対象児童 191人)、給付額 9,550,000円</li> </ul> <p>[ひとり親世帯]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年4月分の児童扶養手当受給者、公的年金受給者等</li> <li>・支給実績 268世帯(対象児童 387人)、19,350,000円</li> </ul>
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	<p>総合支援資金の再貸付の終了などにより、特例貸付を利用できない世帯のうち、収入要件、資産要件及び求職活動要件等を満たしている世帯に、3ヵ月を限度として自立支援金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給額:単身世帯 6万円、2人世帯 8万円、3人以上世帯 10万円</li> <li>・支給実績 11世帯、1,460,000円</li> </ul>
子育て世帯等臨時特別支援事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、対象児童一人あたり10万円の給付を行った。(令和3年度からの継続事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年9月分の児童手当(本則給付)受給者、高校生のみを養育する者、新規児童手当(本則給付)受給者等</li> <li>・支給実績 107世帯(対象児童 143人)、14,300,000円</li> </ul>
花火大会開催事業	<p>イベントの中止などにより、市民の閉塞感が高まる中、少しでも市民に楽しんでほしい、まち全体を元気づけるため花火大会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日時:令和4年9月23日(金) 20時30分～21時15分</li> <li>・打上場所:稚内港北ふ頭</li> <li>・観覧場所:稚内港北ふ頭、中央ふ頭、北洋ふ頭(実績:約2,000人)</li> <li>・YouTubeライブ配信実施(最大視聴者:311人)</li> </ul>
住民税非課税世帯等臨時特別支援事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得世帯に対し、一世帯あたり10万円の給付を行った。(令和3年度からの継続事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度住民税課税者がいる世帯で、令和4年度住民税が非課税である世帯(令和3年度給付金を受給していない世帯)及び家計急変世帯</li> <li>・支給実績 721世帯、72,100,000円</li> </ul>

事業名	事業内容
学校給食食材高騰対策事業	給食センターで使用する学校給食食材費の高騰による影響額、及び単独調理校で使用する学校給食食材の高騰による影響額を負担した。 ・食材高騰影響額: 給食センター分 7,526,991 円、単独調理校分 235,714 円
原油高騰対策運送事業者等緊急支援事業	原油価格高騰の影響を大きく受ける道路貨物運送事業等を営む事業者に対し、支援金を給付した。 ・貨物自動車運送事業(福祉車両、霊柩車を除く): 一台につき 4 万円 支給実績: 37 社(521 台)、20,840,000 円 ・その他の車両(福祉車両、霊柩車、軽貨物、運転代行): 一台につき 2 万 5 千円 支給実績: 22 社(47 台)、1,175,000 円
物価高騰対策緊急支援給付金支給事業	物価高騰等の影響が大きい低所得世帯に対し、給付金を支給した。 ・世帯全員の令和 4 年度分住民税が非課税又は均等割のみ課税の世帯で、令和 4 年度住民税非課税世帯等臨時特別給付金の支給対象にならない世帯 ・非課税のみの世帯: 一世帯あたり 5 万円 支給実績: 3,947 世帯、197,350,000 円 ・均等割のみ課税者がいる世帯: 一世帯あたり 2 万 5 千円 支給実績: 834 世帯、20,850,000 円
子育て世帯臨時特別給付金支給事業	新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、物価高騰等の影響が大きい低所得の子育て世帯を支援するため、対象児童一人あたり 1 万円の給付を行った。 〔ふたり親〕 ・令和 4 年度住民税非課税世帯で、令和 4 年 4 月分の児童手当及び特別児童扶養手当受給者、高校生のみを養育する者、新規児童手当受給者等 ・支給実績 106 世帯(対象児童 192 人)、1,920,000 円 〔ひとり親世帯〕 ・令和 4 年 4 月分の児童扶養手当受給者、公的年金受給者等 ・支給実績 268 世帯(対象児童 387 人)、3,870,000 円
子育て応援価格高騰対策給付金支給事業	物価高騰等の影響が大きい子育て世帯を支援するため、0 歳から 18 歳の児童を養育する保護者等に対し、児童一人あたり 2 万円の給付金を支給した。 ・支給実績 2,353 世帯(対象児童 4,043 人)、80,860,000 円
学生等価格高騰対策給付金支給事業	19 歳以上の市内の大学等に在学する学生等に対する学業の継続及び生活の支援を行うため、一人につき 2 万円の給付金を支給した。 ・支給実績 138 人、2,760,000 円
住民税非課税世帯等価格高騰対策給付金支給事業	物価高騰等の影響が大きい低所得世帯に対し、一世帯あたり 2 万円を支給した。 ・令和 4 年度住民税が非課税である世帯及び令和 4 年 1 月以降の収入が非課税相当に減少した世帯 ・支給実績 4,499 世帯、89,980,000 円

事業名	事業内容
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業	<p>物価高騰等の影響が大きい低所得世帯に対し、一世帯あたり5万円を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度住民税が非課税である世帯及び令和4年1月以降の収入が非課税相当に減少した世帯</li> <li>・支給実績 4,499 世帯、224,950,000 円</li> </ul>
高齢者・障害者施設等緊急支援事業	<p>施設利用者への安定的なサービス提供を確保するため、物価高騰等の影響を受ける市内の高齢者・障害者施設を運営する法人に対し支援金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所系サービス提供施設等1(特別養護老人ホーム、老人保健施設等)4万円×定員</li> <li>・入所系サービス提供施設等2(グループホーム、短期入所等)2万円×定員</li> <li>・通所系サービス提供施設等(デイサービス、就労継続支援等)5千円×定員</li> <li>・支給実績 18 法人、25,760,000 円</li> </ul>
わっかない生活応援プレミアム地域商品券事業	<p>市内の消費拡大と事業者応援を目的として、「わっかない生活応援プレミアム付き地域商品券」を発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1セット5,000円で販売、プレミアム率30%(6,500円分の地域商品券)</li> <li>・1人2セットまで、飲食店限定はなし。</li> <li>・令和5年2月末日に住民登録されている市民に対して購入はがきを発送。</li> <li>・販売期間:令和5年3月2日(木)～4月26日(水)</li> <li>・利用期間:令和5年3月27日(月)～6月30日(金)</li> </ul> <p>※令和5年度繰越事業</p>
酪農経営支援臨時給付金支給事業	<p>飼料・肥料の価格高騰や牛価格の急落など、大きな影響を受けている酪農経営者に対し、給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で乳用牛(経産牛)を飼養している個人経営体又は法人経営体に対し、一頭あたり2,800円を支給</li> <li>・支給実績 98 戸(7,188 頭)、20,126,400 円</li> </ul>

